

本庄市国民健康保険 データヘルス計画

平成 29 年 3 月

本庄市

目次

第1章 計画の概要	2
1. 計画策定の背景	2
2. 計画の位置づけ	2
3. 基本方針	3
4. 計画の期間	3
第2章 本庄市の現状	4
1. 基本情報	4
2. 医療費等の状況	7
(1) 医療基礎情報	7
(2) 疾病別医療費統計	9
(3) 医療機関受診状況	28
(4) 後発医薬品普及状況	29
3. 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	30
(1) 特定健康診査受診状況	30
(2) 特定保健指導実施状況	32
(3) 特定健康診査及びレセプトによる指導対象者の状況	33
(4) 特定健康診査受診有無による医療費の状況	34
第3章 過去の取り組みの考察	35
第4章 実施事業	36
1. 健康課題の抽出と対策の方向性	36
2. 実施事業の選定	37
3. 実施事業の内容	38
第5章 その他	39
1. データヘルス計画の公表・周知	39
2. データヘルス計画の改定	39
3. 事業運営上の留意事項	39
(1) 各種検（健）診等の連携	39
(2) 健康づくり事業との連携	39
4. 個人情報の保護	39

第 1 章 計画の概要

1. 計画策定の背景

データヘルス計画は、平成 25 年 6 月に閣議決定された「日本再興戦略」において、「全ての健康保険組合に対し、「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」とされ、全国でデータヘルス計画とそれに伴う事業を推進することになりました。

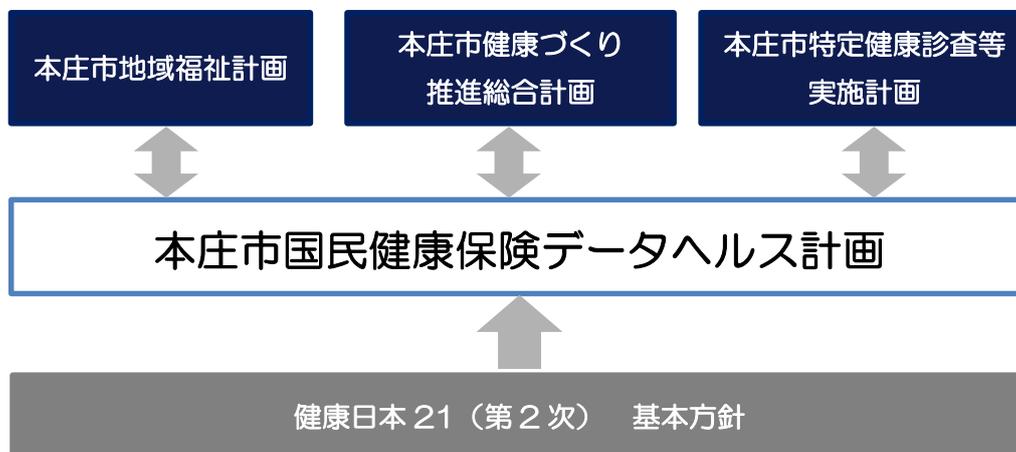
データヘルス計画は健康・医療情報（健康診査の結果や診療報酬明細書から得られる情報（以下「健診データ」、「レセプトデータ」という）を分析、健康状態や健康課題を客観的な指標を示し、これらの分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容を企画します。計画に基づく事業の実施には、費用対効果を考慮することや、健診データやレセプトデータを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行います。それぞれの事業は、毎年度効果の測定及び評価を行い、必要に応じて事業内容等の見直しを行います。

本庄市国民健康保険は、上記の要件に沿ってデータヘルス計画を作成し、被保険者の健康維持増進を図ります。

2. 計画の位置づけ

本庄市国民健康保険データヘルス計画（保健事業実施計画）は、健康・医療情報を活用して PDCA サイクル(Plan-Do-Check-Action サイクル) に沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画です。計画の策定だけでなく、事業の評価においても健診データやレセプトデータの分析を行い、他の計画等との整合を図りながら事業内容の見直しを実施します。

データヘルス計画は、「21 世紀における国民健康づくり運動（健康日本 21（第 2 次）」）に示された基本方針を踏まえるとともに、「本庄市地域福祉計画」、「本庄市健康づくり推進総合計画」及び「高齢者の医療の確保に関する法律」（昭和 57 年法律第 80 号）第 19 条第 1 項の規定により定める「本庄市特定健康診査等実施計画」それぞれの計画との整合性を図ります。



3. 基本方針

データヘルス計画では、健診データやレセプトデータの分析結果を活用し、本市の実態に則した事業を計画します。目標とする成果を達成するために、以下の基本方針で計画を策定します。

基本方針1 課題の明確化

潜在する課題を確認するため、健診データやレセプトデータを分析し、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病を把握し、課題を明確にします。

基本方針2 事業の選定

明確となった課題の改善に向けて、費用対効果の期待できる事業を選定します。

基本方針3 評価指標と目標の設定

事業実施の効果を測定するための評価指標と目標を設定します。また、この目標を達成することの出来る効果的な実施方法を検討し、明示します。

4. 計画の期間

本計画の期間は、平成29年度～平成32年度の4年間とします。

第2章 本庄市の現状

1. 基本情報

本市の平成28年4月現在の人口は78,989人です。人口に対する高齢化率（65歳以上）は26.1%で、埼玉県は23.7%と比較すると高く、全国の高齢化率27.0%よりは低くなっています。

国民健康保険被保険者数は21,904人で、本市の人口に占める国保加入者の割合（以下、国保加入率）は27.7%であり、埼玉県は26.3%、全国の25.3%と比較して、国保加入率は高くなっています。

表1 人口構成概要（平成28年4月1日現在）

	人口総数（人）	高齢化率 （65歳以上）	国保被保険者数 （人）	国保加入率
本庄市	78,989	26.1%	21,904	27.7%
埼玉県	7,273,668	23.7%	1,910,238	26.3%
全国	126,991,000	27.0%	32,112,998	25.3%

※本庄市「平成28年世帯人口等一覧（西暦2016年）」より

※本庄市「平成28年年齢別男女人口調べ（平成28年4月1日現在）」より

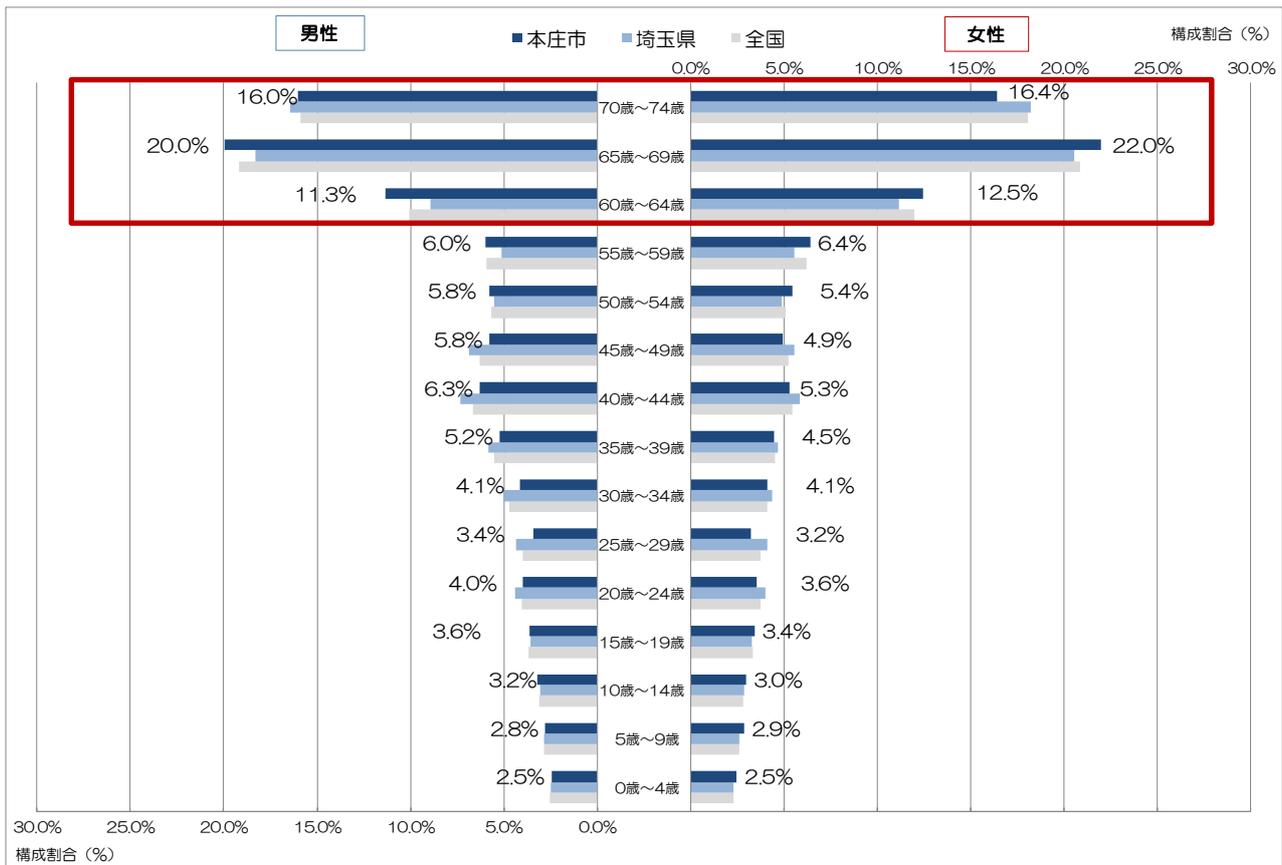
※埼玉県統計「埼玉県推計人口」より

※KDBシステムより

※総務省統計局「人口推計—平成28年9月報—」より

※総務省統計局「国民健康保険事業月報（平成28年4月）」より

国民健康保険被保険者数は60歳以上が約半数を占めており、埼玉県や全国と比較すると60歳以上の割合が高くなっています。国民健康保険被保険者の65歳以上の割合は37.2%で、埼玉県の36.8%、全国の37.0%と比較すると高くなっています。



※ 国保データベース (KDB) システム 「人口及び被保険者の状況」より

図 1 男女別・年齢階層別被保険者数構成割合ピラミッド KDB データ以外の統計データ作表

平均寿命・健康寿命をみると、本市はいずれの数値も埼玉県・全国の数値よりも低い状況にあります。本市の平均寿命は、男性が79.0歳で、埼玉県・全国と比較すると0.6歳低くなっており、女性は85.6歳で埼玉県よりも0.3歳、全国よりも0.8歳低くなっています。

本市の健康寿命は男性が65歳で埼玉県よりも0.5歳、全国よりも0.2歳低く、女性は66.4歳で埼玉県よりも0.5歳、全国よりも0.4歳低くなっています。

表 2 平均寿命・健康寿命 (平成 27 年)

	平均寿命(歳)		健康寿命(歳)	
	男性	女性	男性	女性
本庄市	79.0	85.6	65.0	66.4
埼玉県	79.6	85.9	65.5	66.9
全国	79.6	86.4	65.2	66.8

※国保データベース (KDB) システム 「地域の全体像の把握」より

本市における主たる死因は、「悪性新生物（がん）」、「心疾患」、「肺炎」、「脳血管疾患」の順となっており、埼玉県と同じ傾向にあります。割合をみると、「心臓病」、「肺炎」、「脳疾患」、「糖尿病」の割合が埼玉県と比較して高くなっています。

表 3 死因別死亡割合（平成 26 年）

疾病項目	本庄市		埼玉県
	人数（人）	割合	
悪性新生物	263	28.8%	30.4%
心疾患（高血圧性を除く）	165	18.1%	16.8%
肺炎	135	14.8%	10.2%
脳血管疾患	79	8.7%	8.4%
老衰	26	2.8%	4.6%
自殺	22	2.4%	2.2%
不慮の事故	18	2.0%	2.5%
腎不全	16	1.8%	1.9%
その他	189	20.6%	23.0%
合計	913		

※「人口動態統計」より

2. 医療費等の状況

(1) 医療基礎情報

本市の医療基礎情報は表4のとおりです。千人当たりの病院数は0.5、病床数は63.9となっており、埼玉県・全国と比較して多くなっています。また、千人当たりの診療所数も2.5となっており、全国よりもやや少ないものの、埼玉県と比較すると多い状況にあり、本市の医療機関の受診環境は埼玉県内では恵まれた環境にあります。

その反面、医師数は全国と比較して少なく、都道府県の中で最も医師数が少ない埼玉県の平均よりもさらに少ない状況にあります。

1件当たり医療費は37,200円となっており、埼玉県、全国と比較すると高くなっています。

外来では1件当たり医療費や1人当たり医療費、1日当たり医療費、1件当り受診回数が埼玉県、全国と比較して高くなっています。

一方、入院では、1件当たり医療費や1日当たり医療費は、埼玉県、全国と比較して低くなっていますが、1件当たり在院日数が多くなっています。

表4 医療基礎情報

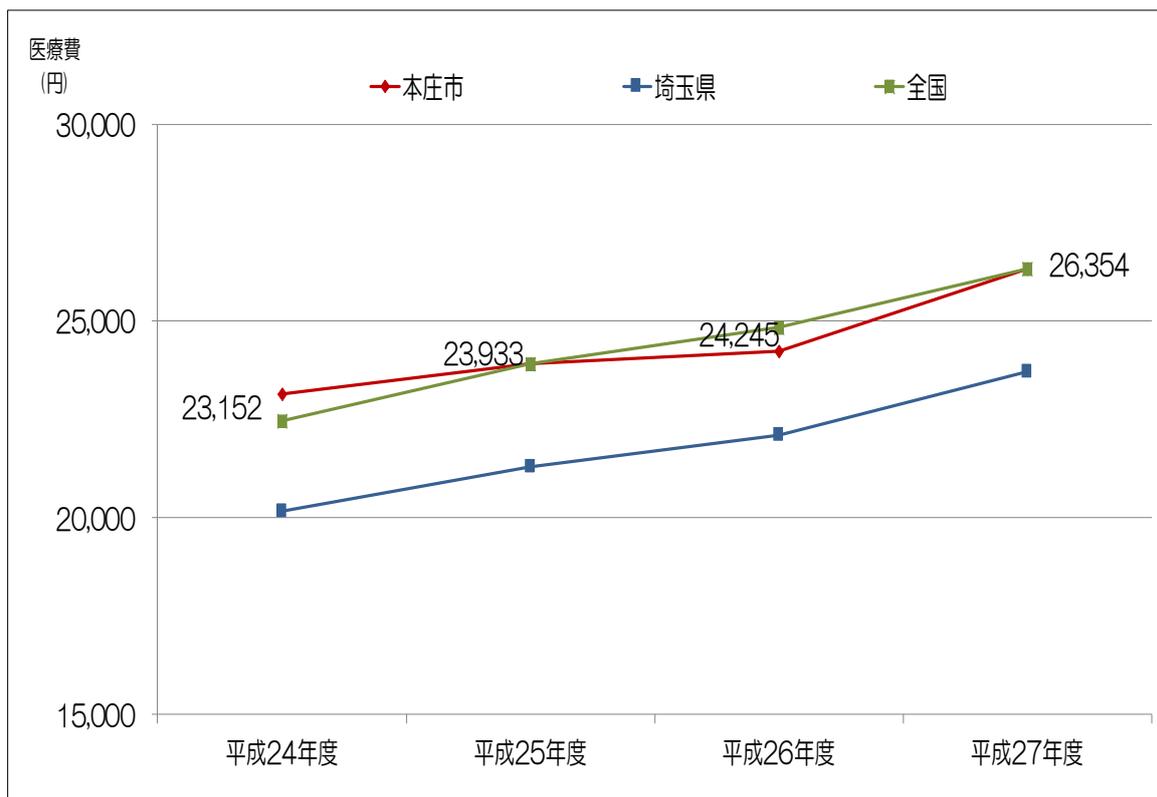
区 分	本 庄 市	埼 玉 県	全 国
千人当たり			
病院数	0.5	0.2	0.2
診療所数	2.5	1.9	2.8
病床数	63.9	28.6	44.8
医師数(人)	4.8	5.2	8.4
外来患者数(人)	644.9	625.8	667.5
入院患者数(人)	19.0	14.5	18.2
医科レセプト数(件)	663.8	640.3	685.7
1件当たり医療費(円)	37,200	34,300	35,660
一 般(円)	37,180	34,210	35,580
退 職(円)	37,660	36,880	37,800
外 来			
外来費用の割合 ※1	62.4%	64.1%	60.8%
1件当たり医療費(円)	23,880	22,490	22,280
1人当たり医療費(円)	15,400	14,070	14,870
1日当たり医療費(円)	14,390	14,180	14,000
1件当たり受診回数	1.7	1.6	1.6
入 院			
入院費用の割合 ※2	37.6%	35.9%	39.2%
1件当たり医療費(円)	490,500	542,470	527,160
1人当たり医療費(円)	9,300	7,890	9,580
1日当たり医療費(円)	30,560	37,180	33,570
1件当たり在院日数	16.1	14.6	15.7

※国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」より

※1「外来費用の割合 = 外来レセプトの総点数 ÷ 医科レセプトの総点数」で算出。

※2「入院費用の割合 = 入院レセプトの総点数 ÷ 医科レセプトの総点数」で算出。

被保険者一人当たり月額医療費は、高齢化の進展及び医療の高度化により年々上昇し続けており、平成 24 年度と平成 27 年度を比較すると、月額約 3,000 円増加しています。埼玉県と比較すると一人当たりの医療費は高く、全国と同水準となっています。



※国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」より

図 2 被保険者一人当たり医療費(月額/人)の推移

(2) 疾病別医療費統計

① 大分類による疾病別医療費統計

疾病項目ごとに医療費総計、医科レセプト件数、患者数を算出すると、表5になります。「Ⅸ. 循環器系の疾患」が医療費合計の15.8%を占め、「Ⅱ. 新生物」は医療費合計の12.9%、「Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患」は医療費合計の8.9%と高い割合を占めています。次いで「ⅩⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患」も医療費合計の8.6%を占め、高い水準となっています。

患者数は、「Ⅹ. 呼吸器系の疾患」、「ⅩⅠ. 消化器系の疾患」、「Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患」が多く、患者一人当たりの医療費は「ⅩⅥ. 周産期に発生した病態」、「Ⅴ. 精神及び行動の障害」、「Ⅱ. 新生物」が高くなっています。

表5 大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病項目（大分類）	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比	順位	医科 レセプト 件数 ※	順位	患者数 ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
Ⅰ. 感染症及び寄生虫症	392,783,740	6.1%	9	15,325	12	6,167	8	63,691	8
Ⅱ. 新生物	826,245,720	12.9%	2	14,639	13	5,164	10	160,001	3
Ⅲ. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	73,313,550	1.1%	15	5,490	15	2,123	15	34,533	16
Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患	570,101,890	8.9%	3	55,765	2	9,071	3	62,849	9
Ⅴ. 精神及び行動の障害	543,642,750	8.5%	5	18,369	7	2,765	14	196,616	2
Ⅵ. 神経系の疾患	267,183,310	4.2%	10	28,198	6	4,487	12	59,546	11
Ⅶ. 眼及び付属器の疾患	250,035,030	3.9%	11	17,511	9	6,287	7	39,770	14
Ⅷ. 耳及び乳様突起の疾患	24,139,840	0.4%	17	3,708	17	1,811	16	13,330	21
Ⅸ. 循環器系の疾患	1,014,798,250	15.8%	1	62,766	1	8,659	4	117,196	5
Ⅹ. 呼吸器系の疾患	393,092,140	6.1%	8	35,857	5	10,872	1	36,156	15
ⅩⅠ. 消化器系の疾患	482,585,570	7.5%	7	51,785	3	10,589	2	45,574	13
ⅩⅡ. 皮膚及び皮下組織の疾患	130,652,760	2.0%	13	18,340	8	6,456	6	20,237	18
ⅩⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患	507,499,220	7.9%	6	39,575	4	7,958	5	63,772	7
ⅩⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患	550,860,730	8.6%	4	15,746	11	4,639	11	118,746	4
ⅩⅤ. 妊娠、分娩及び産じょく	15,010,080	0.2%	19	339	19	155	19	96,839	6
ⅩⅥ. 周産期に発生した病態	12,507,170	0.2%	20	116	21	59	21	211,986	1
ⅩⅦ. 先天奇形、変形及び染色体異常	24,358,270	0.4%	16	1,054	18	408	18	59,702	10
ⅩⅧ. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	120,531,700	1.9%	14	16,517	10	5,828	9	20,681	17
ⅩⅨ. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	192,341,710	3.0%	12	8,225	14	3,887	13	49,483	12
ⅩⅩⅠ. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	16,508,830	0.3%	18	3,746	16	915	17	18,042	19
ⅩⅩⅡ. 特殊目的用コード	0	0.0%	22	0	22	0	22	0	22
分類外	1,592,500	0.0%	21	247	20	112	20	14,219	20
合計	6,409,784,760	100.0%		176,257		19,596		327,097	

※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

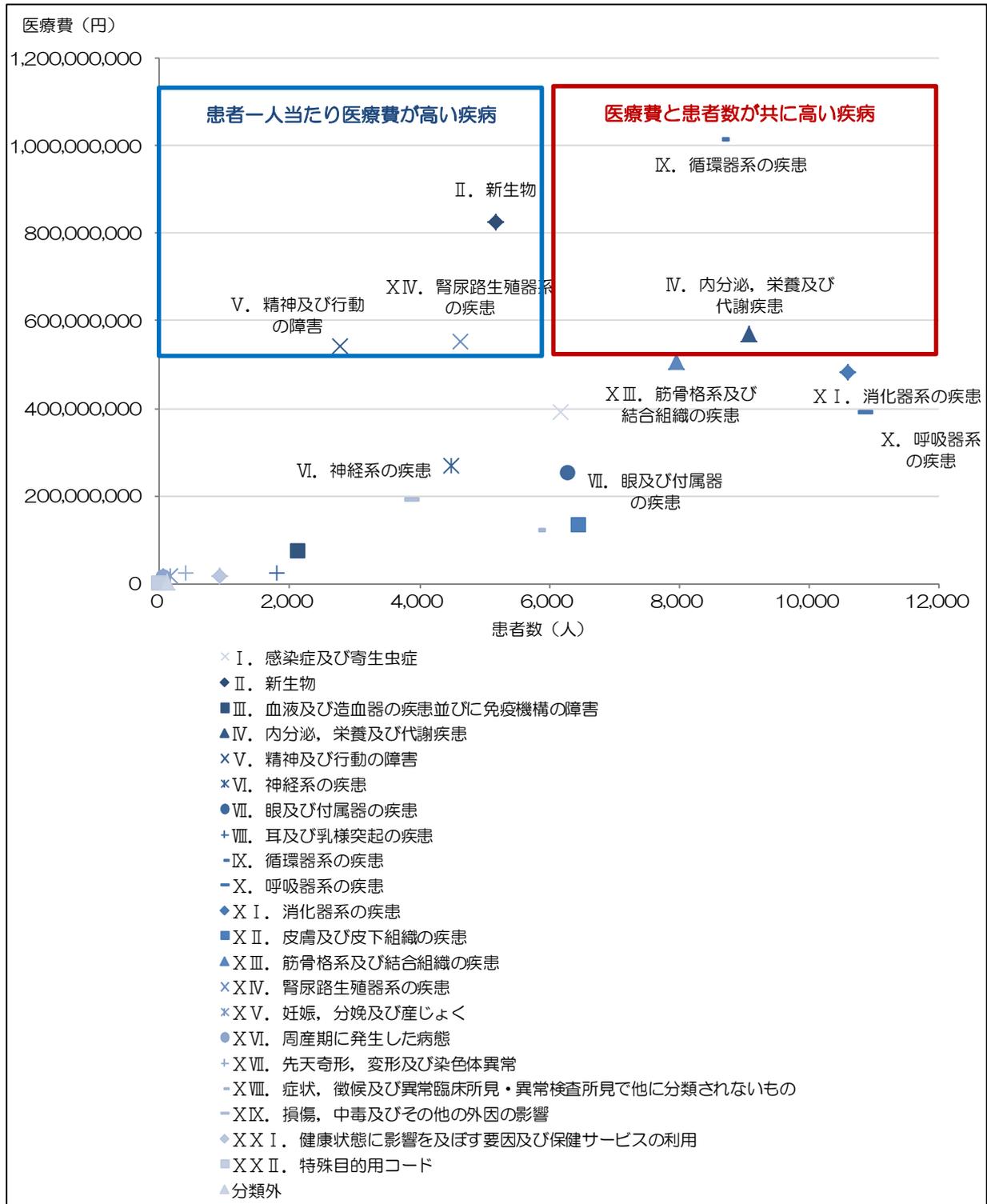
※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、調剤レセプトの医療費は集計できない。
そのため他統計と一致しない。

※医科レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病項目ごとの医療費総計、患者数の分布をみると、高血圧が含まれる「Ⅸ. 循環器系の疾患」や糖尿病や脂質異常症が含まれる「Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患」は患者数が多く医療費も高くなっています。

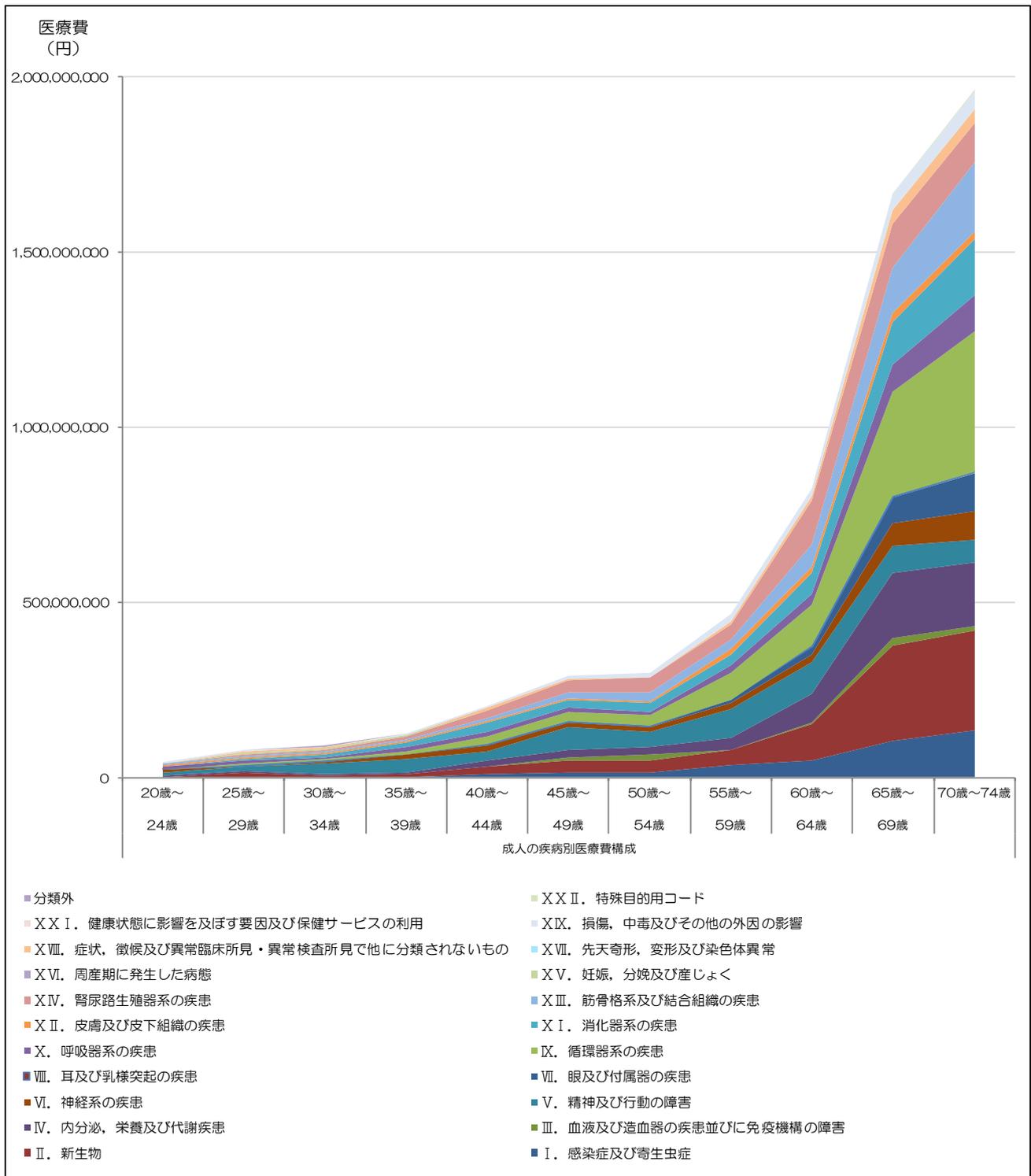
また癌や腫瘍等の「Ⅱ. 新生物」や精神病等の「Ⅴ. 精神及び行動の障害」、腎臓病、尿管結石、前立腺肥大等の「ⅩⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患」は患者数は少ないですが、患者一人当たりの医療費が高いため医療費が高くなっています。



※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

図 3 疾病別医療費及び患者数

5歳ごとの年齢階層別の医療費をみると、60歳以上から急激に増加しており、70歳以上の医療費が最も高くなっています。その中でも、「Ⅱ. 新生物」、「Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患」、「Ⅸ. 循環器系の疾患」、「ⅩⅠ. 消化器系の疾患」、「ⅩⅢ. 筋骨格系及び結合組織の疾患」の医療費が伸びています。



※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

図 4 疾病別年齢階層別医療費

疾病項目ごとの年齢別の医療費の上位5疾病をみると、男女共に30歳までは「X. 呼吸器系の疾患」の医療費が高く、30歳から49歳まではメンタル系の疾患である「V. 精神及び行動の障害」、「VI. 神経系の疾患」の医療費が高くなっています。55歳以降では、男性は、「II. 新生物」、「IX. 循環器系の疾患」、「XIV. 腎尿路生殖器系の疾患」の医療費が高くなり、女性は「II. 新生物」、「IX. 循環器系の疾患」、「XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患」の医療費が高くなっています。

表 6 疾病別年齢階層別医療費 上位5疾病 【男性】

年齢階層	1	2	3	4	5
20歳～24歳	V. 精神及び行動障害	X. 呼吸器系の疾患	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患	XI. 消化器系の疾患	XII. 皮膚及び皮下組織の疾患
25歳～29歳	II. 新生物	X. 呼吸器系の疾患	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動障害	IX. 循環器系の疾患
30歳～34歳	V. 精神及び行動障害	X. 呼吸器系の疾患	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患	XI. 消化器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
35歳～39歳	V. 精神及び行動障害	VI. 神経系の疾患	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	XI. 消化器系の疾患	X. 呼吸器系の疾患
40歳～44歳	IX. 循環器系の疾患	XI. 消化器系の疾患	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動障害	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
45歳～49歳	V. 精神及び行動障害	IX. 循環器系の疾患	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	XI. 消化器系の疾患
50歳～54歳	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動障害	IX. 循環器系の疾患	XI. 消化器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
55歳～59歳	IX. 循環器系の疾患	V. 精神及び行動障害	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	I. 感染症及び寄生虫症	II. 新生物
60歳～64歳	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物	V. 精神及び行動障害	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
65歳～69歳	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	XI. 消化器系の疾患
70歳～74歳	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	XI. 消化器系の疾患	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患

※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

表 7 疾病別年齢階層別医療費 上位5疾病 【女性】

年齢階層	1	2	3	4	5
20歳～24歳	VI. 神経系の疾患	V. 精神及び行動障害	X. 呼吸器系の疾患	X I. 消化器系の疾患	XIX. 損傷、中毒及び その他外因の影響
25歳～29歳	V. 精神及び行動障害	X V. 妊娠、分娩及び産 じょく	X I. 消化器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結 合組織の疾患	X. 呼吸器系の疾患
30歳～34歳	V. 精神及び行動障害	X V. 妊娠、分娩及び産 じょく	X. 呼吸器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び 代謝疾患	XIV. 腎尿路生殖器系 の疾患
35歳～39歳	V. 精神及び行動障害	X I. 消化器系の疾患	IX. 循環器系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	II. 新生物
40歳～44歳	II. 新生物	V. 精神及び行動障害	VI. 神経系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び 代謝疾患	XIV. 腎尿路生殖器系 の疾患
45歳～49歳	V. 精神及び行動障害	II. 新生物	XIV. 腎尿路生殖器系 の疾患	X I. 消化器系の疾患	I. 感染症及び寄生虫 症
50歳～54歳	X III. 筋骨格系及び結 合組織の疾患	II. 新生物	V. 精神及び行動障害	IX. 循環器系の疾患	XIV. 腎尿路生殖器系 の疾患
55歳～59歳	V. 精神及び行動障害	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物	X III. 筋骨格系及び結 合組織の疾患	I. 感染症及び寄生虫 症
60歳～64歳	IX. 循環器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結 合組織の疾患	V. 精神及び行動障害	II. 新生物	XIV. 腎尿路生殖器系 の疾患
65歳～69歳	II. 新生物	IX. 循環器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結 合組織の疾患	IV. 内分泌、栄養及び 代謝疾患	I. 感染症及び寄生虫 症
70歳～74歳	IX. 循環器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結 合組織の疾患	II. 新生物	IV. 内分泌、栄養及び 代謝疾患	I. 感染症及び寄生虫 症

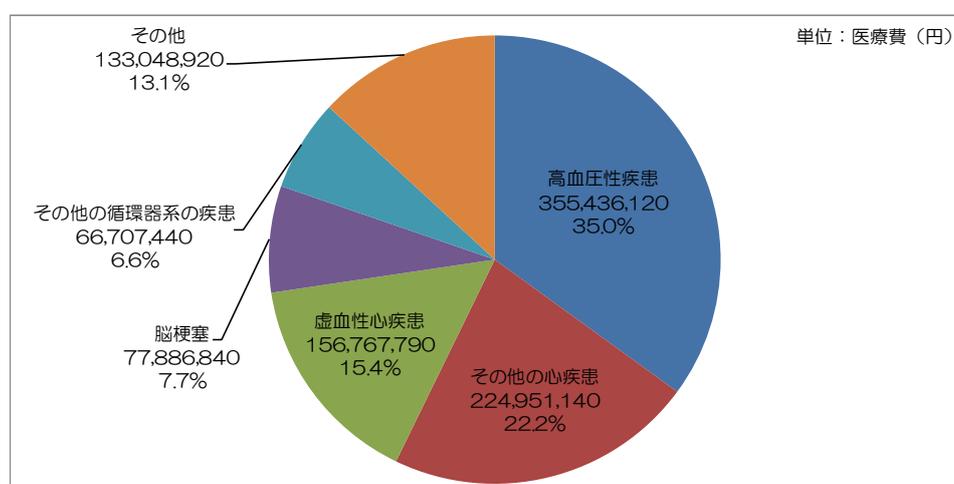
※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

② 中分類による疾病別医療費統計

医療費や患者数、患者一人当たり医療費が上位にきた「Ⅸ. 循環器系の疾患」、「Ⅱ. 新生物」、「Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患」、「ⅩⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患」、「Ⅹ. 呼吸器系の疾患」、「Ⅴ. 精神及び行動の障害」について、中分類ごとに集計します。

- Ⅸ. 循環器系の疾患 : 医療費 第1位、患者数 第4位、
患者一人当たり医療費 第5位

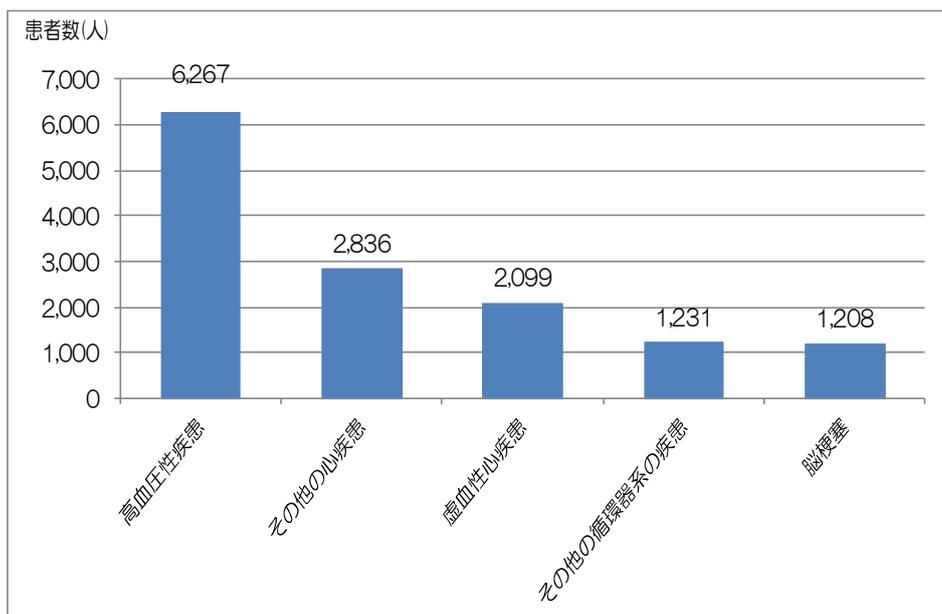
医療費が最も高額で、死因の第2位である「心臓病」、第3位である「脳疾患」が含まれる「Ⅸ. 循環器系の疾患」について、中分類別にみると、「高血圧性疾患」の医療費が約3億5,544万円で35.0%を占め、その次に心筋症や心不全が含まれる「その他の心疾患」の医療費が約2億2,495万円で22.2%を占め、「虚血性心疾患」の医療費が約1億5,676万円で15%以上と高い割合を占めています。



※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。
※医療費総計…中分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、
調剤レセプトの医療費は集計できない。そのため他統計と一致しない。

図5 循環器系の疾患の医療費の内訳

患者数は、「高血圧性疾患」の患者が一番多く 6,267 人、次いで「その他の心疾患」が 2,836 人、「虚血性心疾患」も 2,000 人を超えています。

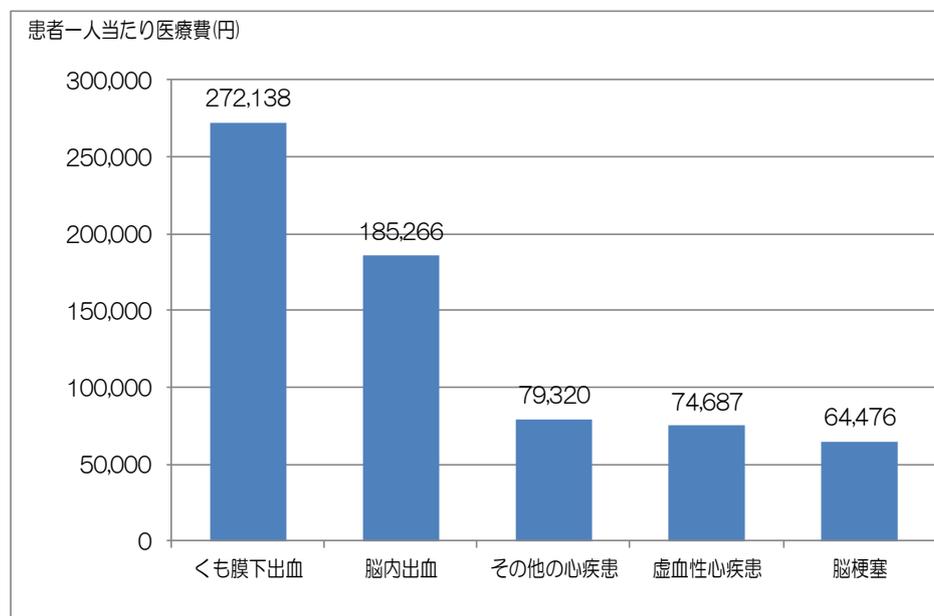


※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

図 6 循環器系の疾患の患者数

患者一人当たり医療費では、「くも膜下出血」の患者一人当たり医療費が約 27 万円となっています。その他に「脳内出血」、「その他の心疾患」の患者一人当たり医療費が高額となっています。



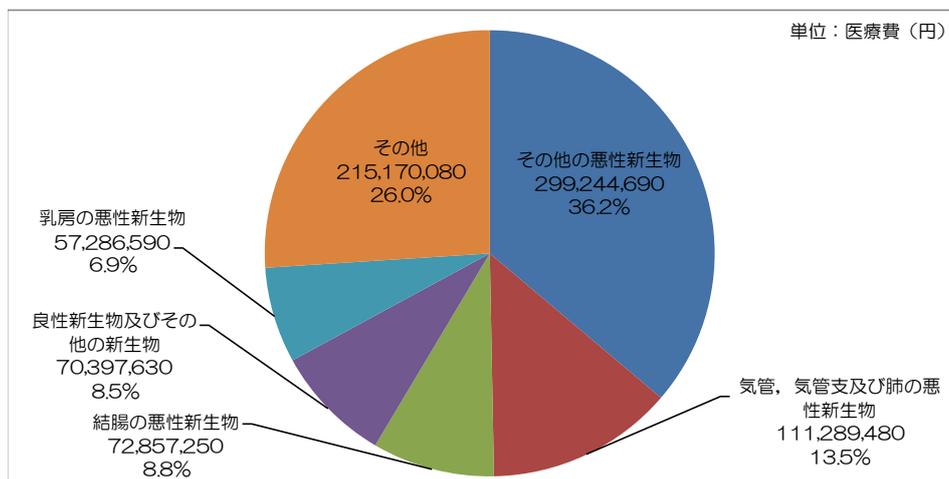
※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

図 7 循環器系の疾患の患者一人当たり医療費

● Ⅱ. 新生物 : 医療費 第2位、患者数 第10位、
患者一人当たり医療費 第3位

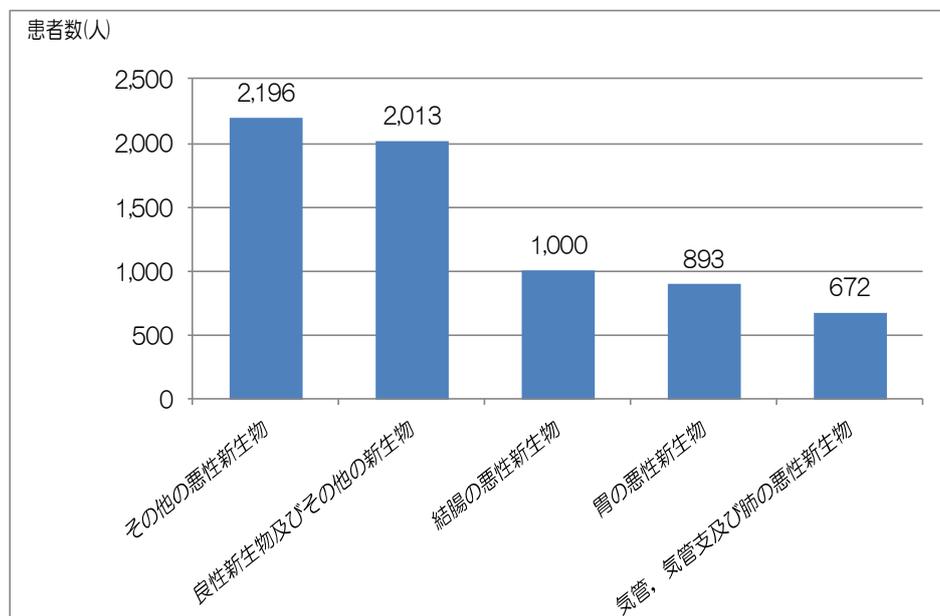
医療費が第2位、患者数一人当たり医療費が第3位であり、死因の第1位である「癌・悪性新生物」が含まれる「Ⅱ. 新生物」について、中分類別にみると、前立腺癌等が含まれる「その他の悪性新生物」の医療費が約2億9,924万円で36.2%を占めています。その次に「気管、気管支及び肺の悪性新生物」の医療費が10%以上と高い割合を占めています。

患者一人当たり医療費では、「白血病」の患者一人当たり医療費が約68万円となっています。その他に「直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物」、「悪性リンパ腫」、「乳房の悪性新生物」が高額となっています。



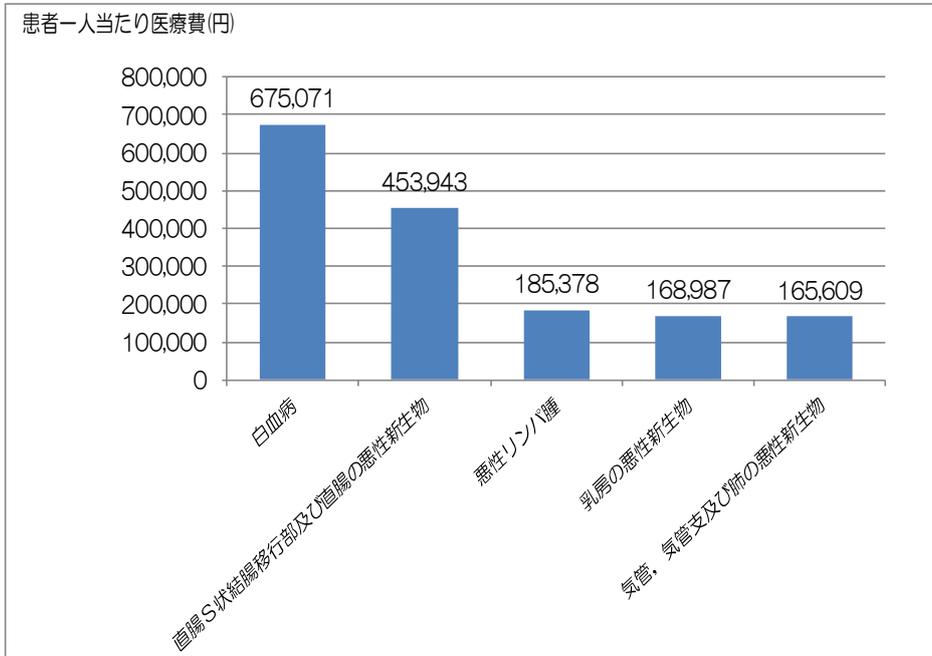
※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。
※医療費総計…中分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、調剤レセプトの医療費は集計できない。そのため他統計と一致しない。

図 8 新生物の医療費の内訳



※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

図 9 新生物の疾患の患者数



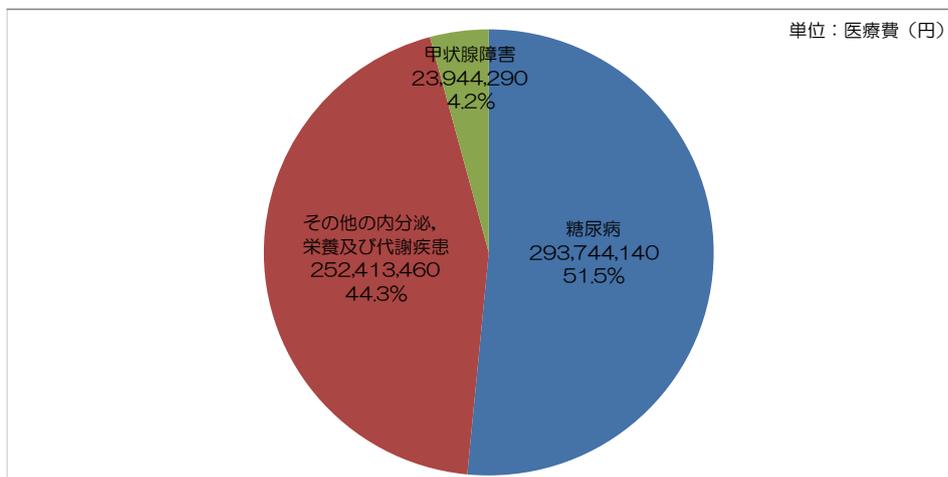
※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

図 10 新生物の患者一人当たり医療費

- IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患 : 医療費 第3位、患者数 第3位、
患者一人当たり医療費 第9位

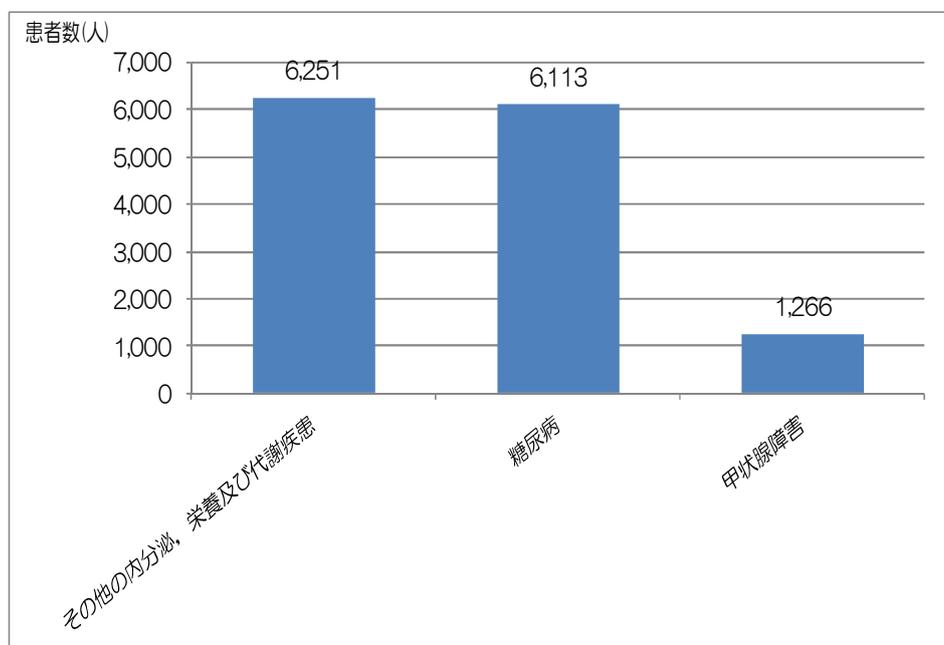
医療費、患者数が第3位である「IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患」について、中分類別にみると、「糖尿病」の医療費が約2億9,374万円で51.5%、脂質異常症の含まれる「その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患」の医療費が約2億5,241万円で44.3%を占めています。

患者数では、「その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患」、「糖尿病」ともに6,000人以上となっています。



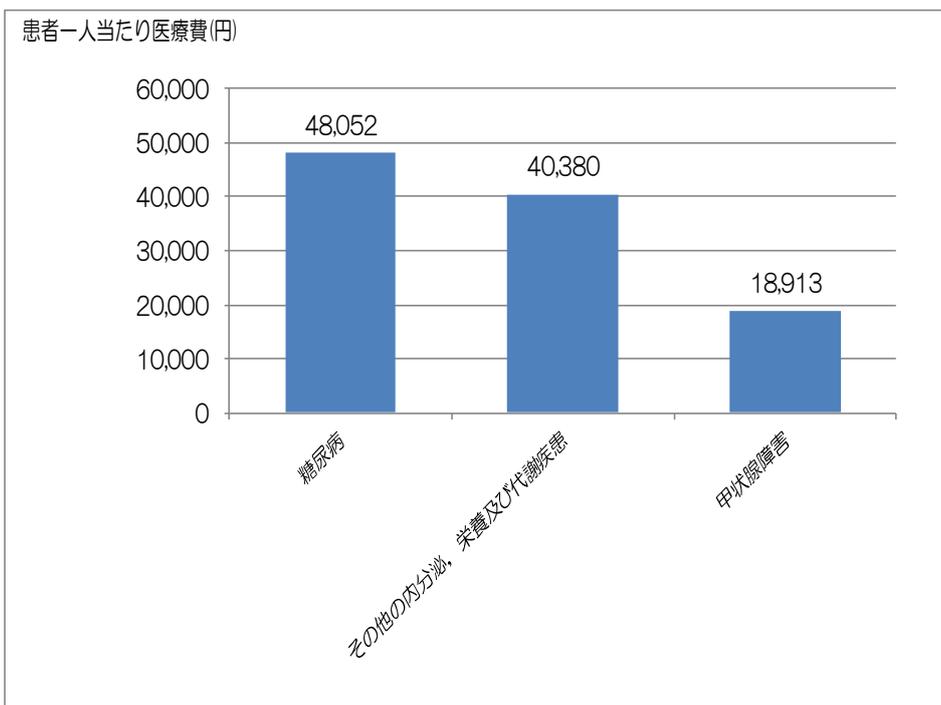
※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。
 ※医療費総計…中分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、
 調剤レセプトの医療費は集計できない。そのため他統計と一致しない。

図 11 内分泌, 栄養及び代謝疾患の医療費の内訳



※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。
 ※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

図 12 内分泌, 栄養及び代謝疾患の患者数



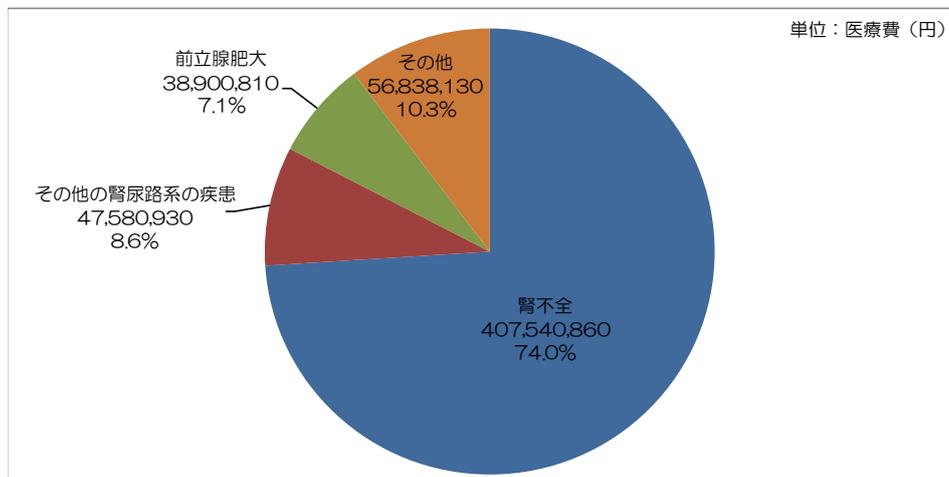
※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

図 13 内分泌、栄養及び代謝疾患の患者一人あたりの医療費

- XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患 : 医療費 第4位、患者数 第11位、
患者一人当たり医療費 第4位

医療費、患者一人当たり医療費が第4位である「XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患」について、中分類別にみると、「腎不全」の医療費が約4億754万円で74.0%を占めています。

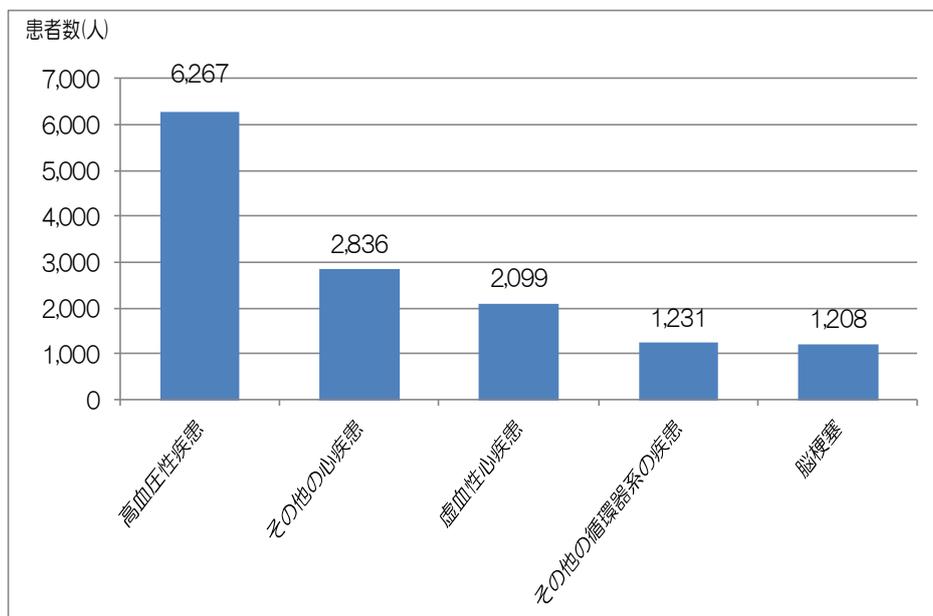
患者一人当たり医療費では、「腎不全」の患者一人当たり医療費が約110万円となっています。



※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。
※医療費総計…中分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、調剤レセプトの医療費は集計できない。そのため他統計と一致しない。

図 14 腎尿路生殖器系の疾患の医療費の内訳

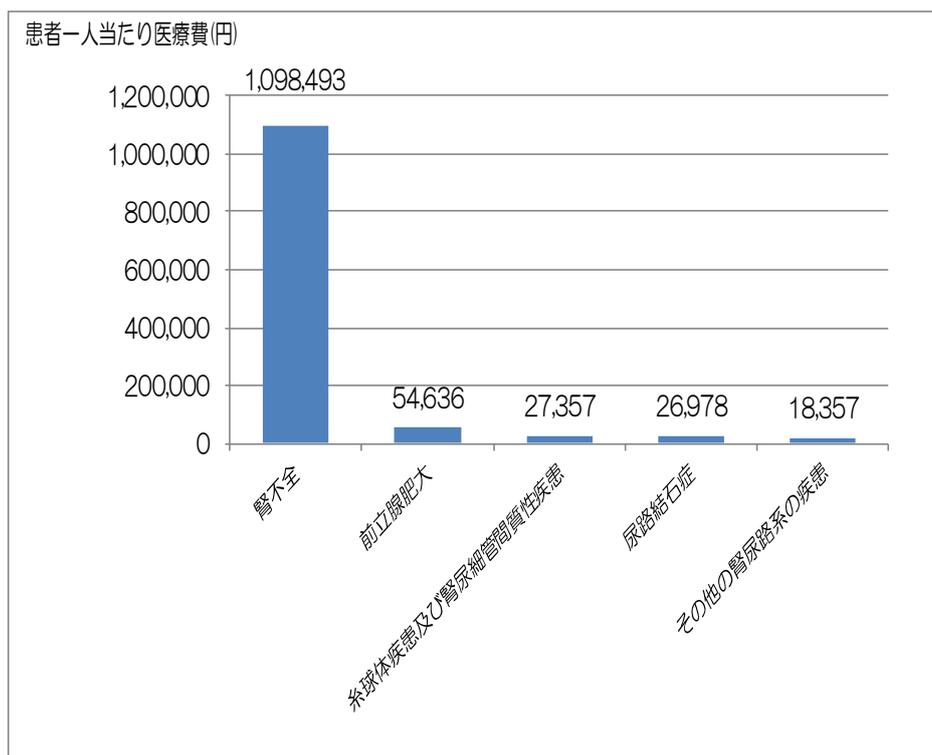
患者数では高血圧性疾患が6,267人と最も多く、次いでその他の心疾患が2,836人、虚血性心疾患も2,000人を超えています。



※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

図 15 腎尿路生殖器系の患者数

患者一人当たり医療費では、「腎不全」の患者一人当たり医療費が約 110 万円となっています。



※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

図 16 腎尿路生殖器系の疾患の患者一人当たり医療費

「腎不全」の中には、年間の医療費が500万円～600万円必要になるといわれる人工透析患者が含まれます。人工透析患者についてみると、透析患者数は104人であり、そのうち起因疾病が「糖尿病性腎症 II型糖尿病」である患者が61人おり、58.7%と多くの割合を占めています。

また、人工透析患者の医療費は年間5億6,466万円かかっており、一人当たり年間約543万円と高額な医療費がかかっています。

表 8 人工透析患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	103
腹膜透析のみ	1
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	104

※レセプトデータは医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。
※対象診療年月内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

表 9 人工透析患者の医療費

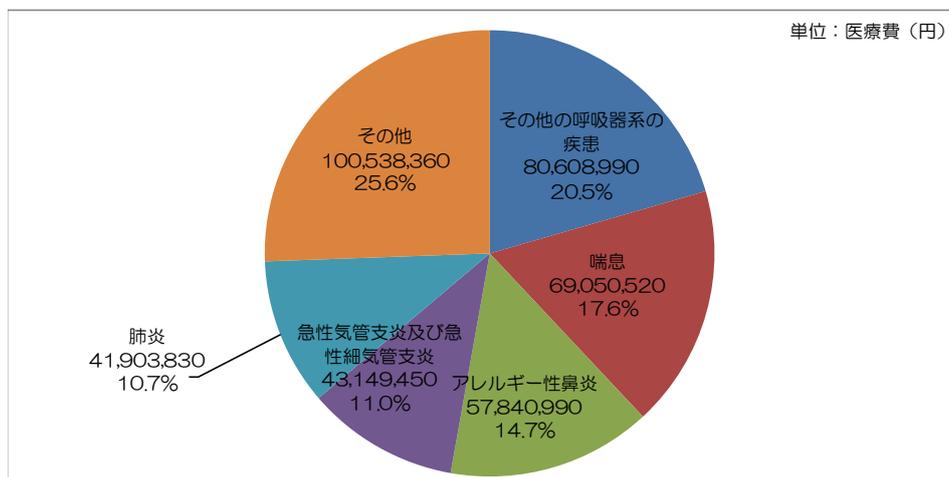
透析患者の起因	透析患者数 (人)	割合	医療費(円)			患者一人当たり医療費(円)		
			透析関連	透析関連 以外	合計	透析関連	透析関連 以外	合計
① 糖尿病性腎症 I型糖尿病	1	1.0%	5,429,970	1,591,990	7,021,960	5,429,970	1,591,990	7,021,960
② 糖尿病性腎症 II型糖尿病	61	58.7%	287,954,470	64,695,790	352,650,260	4,720,565	1,060,587	5,781,152
③ 糸球体腎炎 IgA腎症	1	1.0%	4,631,410	930,970	5,562,380	4,631,410	930,970	5,562,380
④ 糸球体腎炎 その他	4	3.8%	10,946,320	4,037,950	14,984,270	2,736,580	1,009,488	3,746,068
⑤ 腎硬化症 本態性高血圧	2	1.9%	9,130,190	528,430	9,658,620	4,565,095	264,215	4,829,310
⑥ 腎硬化症 その他	0	0.0%	0	0	0	-	-	-
⑦ 痛風腎	0	0.0%	0	0	0	-	-	-
⑧ 不明 ※	35	33.7%	143,855,270	30,924,330	174,779,600	4,110,151	883,552	4,993,703
透析患者全体	104	100.0%	461,947,630	102,709,460	564,657,090	4,441,804	987,591	5,429,395

※レセプトデータは医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。
※対象診療年月内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。
※⑧不明…①～⑦の傷病名組み合わせに該当せず、起因が特定できない患者。

- X. 呼吸器系の疾患 : 医療費 第8位、患者数 第1位、
患者一人当たり医療費 第15位

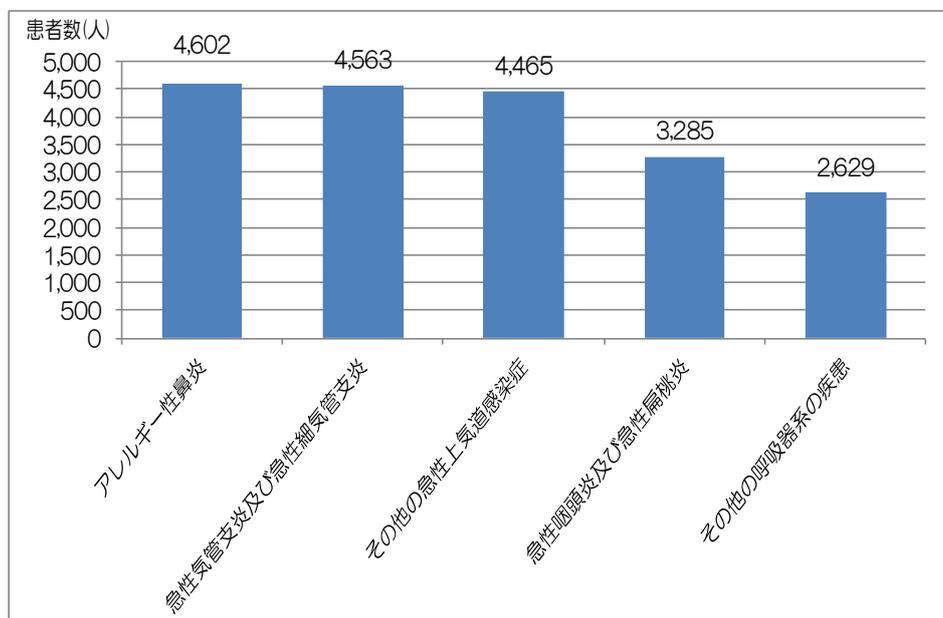
患者数が第1位であり、30歳までの医療費の割合の高い「X. 呼吸器系の疾患」について、中分類別にみると、鼻炎、インフルエンザ等が含まれる「その他の呼吸器系の疾患」の医療費が約8,061万円で20.5%を占めています。その次に「喘息」の医療費がそれぞれ15%以上となっており、高い割合を占めています。

患者数では、「アレルギー性鼻炎」、「急性気管支炎及び急性細気管支炎」、「その他の急性上気道感染症」の患者数が4,000人以上となっています。



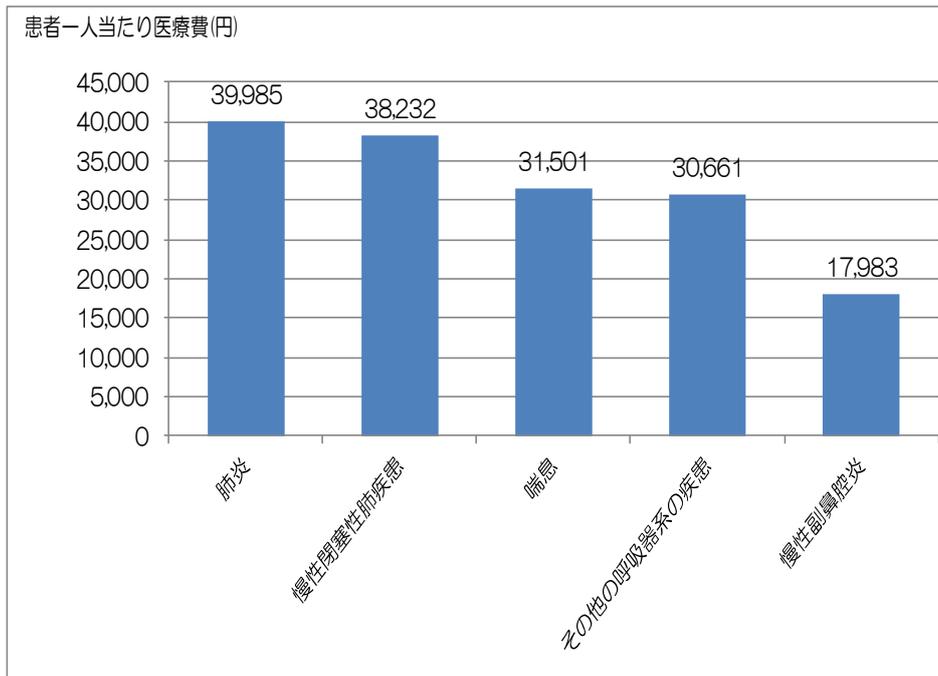
※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。
※医療費総計…中分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、調剤レセプトの医療費は集計できない。そのため他統計と一致しない。

図 17 呼吸器系の疾患の医療費の内訳



※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

図 18 呼吸器系の疾患の患者数



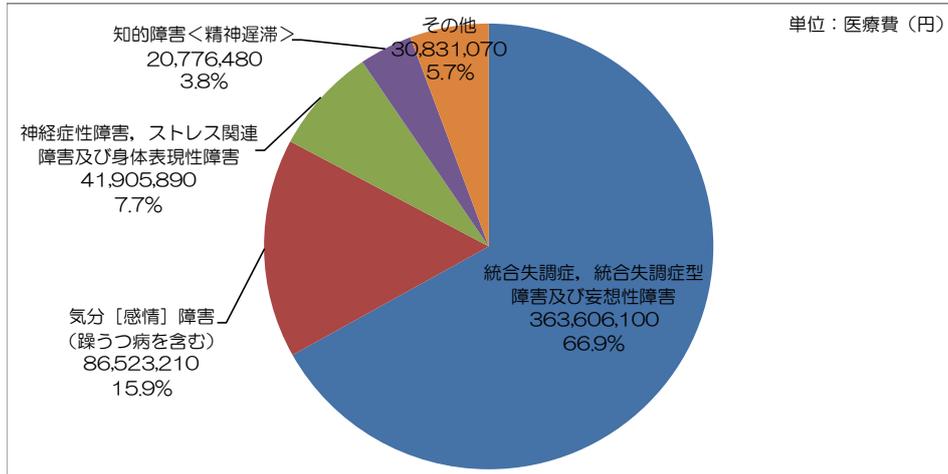
※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

図 19 呼吸器系の疾患の患者一人当たり医療費

- V. 精神及び行動の障害 : 医療費 第5位、患者数 第14位、
患者一人当たり医療費 第2位

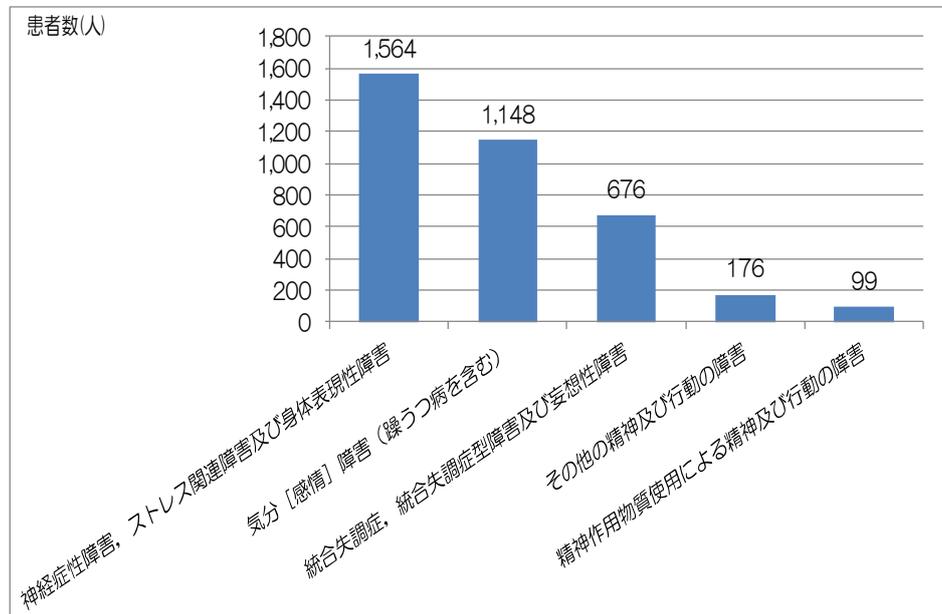
患者一人当たり医療費が第2位で、30歳～40歳代の医療費割合が高い「V. 精神及び行動の障害」について、中分類別にみると、「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」の医療費が約3億6,361万円で66.9%を占めています。

患者一人当たり医療費では、「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」の患者一人当たり医療費が約53万円と最も高くなっています。



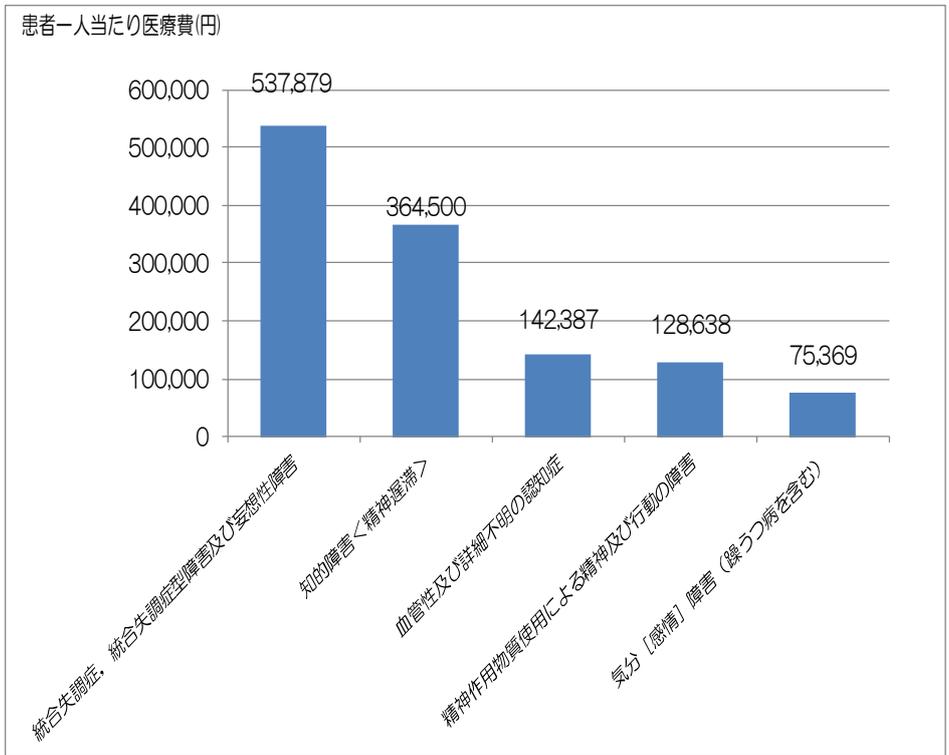
※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。
※医療費総計…中分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、調剤レセプトの医療費は集計できない。そのため他統計と一致しない。

図 20 精神及び行動の障害の疾病別割合



※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

図 21 精神及び行動の障害の患者数



※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

図 22 精神及び行動の障害の患者一人当たり医療費

③ 高額レセプトの原因となる疾病傾向

1件当たりの点数が5万点以上である高額レセプトの要因となる疾病をみると、「白血病」、「知的障害<精神遅滞>」、「ウイルス肝炎」は患者一人当たり医療費が300万円以上、「妊娠及び胎児発育に関連する障害」、「アルツハイマー病」、「悪性リンパ腫」は200万円以上と患者一人当たり医療費が非常に高くなっています。また、予防が可能な疾患としては7位から9位に循環器系の疾患、10位に「気管、気管支及び肺の悪性新生物（がん）」が入っています。なお、3位の「ウイルス肝炎」は平成27年に承認された新薬の影響で患者一人当たり医療費が高騰しましたが、平成28年4月以降落ち着きを取り戻しつつあります。

表 10 高額レセプトの要因となる疾病

	中分類疾病項目	医療費 (円)	患者一人当たり 医療費 (円)
1	白血病	31,388,340	4,484,049
2	知的障害<精神遅滞>	3,532,760	3,532,760
3	ウイルス肝炎	204,485,820	3,245,807
4	妊娠及び胎児発育に関連する障害	5,539,060	2,769,530
5	アルツハイマー病	2,130,780	2,130,780
6	悪性リンパ腫	12,645,100	2,107,517
7	脳内出血	31,772,180	1,985,761
8	くも膜下出血	11,774,680	1,962,447
9	その他の循環器系の疾患	29,368,340	1,957,889
10	気管、気管支及び肺の悪性新生物	64,477,970	1,896,411

※レセプトデータは医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分（12カ月分）

(3) 医療機関受診状況

医療機関への過度な受診の可能性がある重複受診者数や頻回受診者数、過度な服薬の可能性がある重複薬者数は以下のとおりです。12カ月間の実人数として、重複受診者は204人、頻回受診者は421人、重複服薬者は350人おり、月により人数のばらつきは見られますが一定数以上の対象者がいることがわかります。

表 11 重複受診者数

	平成27年2月	平成27年3月	平成27年4月	平成27年5月	平成27年6月	平成27年7月	平成27年8月	平成27年9月	平成27年10月	平成27年11月	平成27年12月	平成28年1月
重複受診者数(人)※	20	26	23	17	27	23	29	25	28	27	29	21
12カ月間の延べ人数											295	
12カ月間の実人数											204	

※レセプトデータは医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。

透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

表 12 頻回受診者数

	平成27年2月	平成27年3月	平成27年4月	平成27年5月	平成27年6月	平成27年7月	平成27年8月	平成27年9月	平成27年10月	平成27年11月	平成27年12月	平成28年1月
頻回受診者数(人)※	80	97	94	87	113	117	92	75	113	77	89	77
12カ月間の延べ人数											1,111	
12カ月間の実人数											421	

※レセプトデータは医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

表 13 重複服薬者数

	平成27年2月	平成27年3月	平成27年4月	平成27年5月	平成27年6月	平成27年7月	平成27年8月	平成27年9月	平成27年10月	平成27年11月	平成27年12月	平成28年1月
重複服薬者数(人)※	24	39	65	69	61	57	67	70	61	70	70	75
12カ月間の延べ人数											728	
12カ月間の実人数											350	

※レセプトデータは医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

(4) 後発医薬品普及状況

本市の後発医薬品（以下、ジェネリック医薬品）の利用率及び数量シェアは、平成27年度平均値から平成28年4月と5月に大きく割合を伸ばしましたが、6月以降微増にとどまっています。12月現在、本市の利用率は62.7%、数量シェアが66.8%で、利用率と数量シェアともに埼玉県より約3%低い状況です。

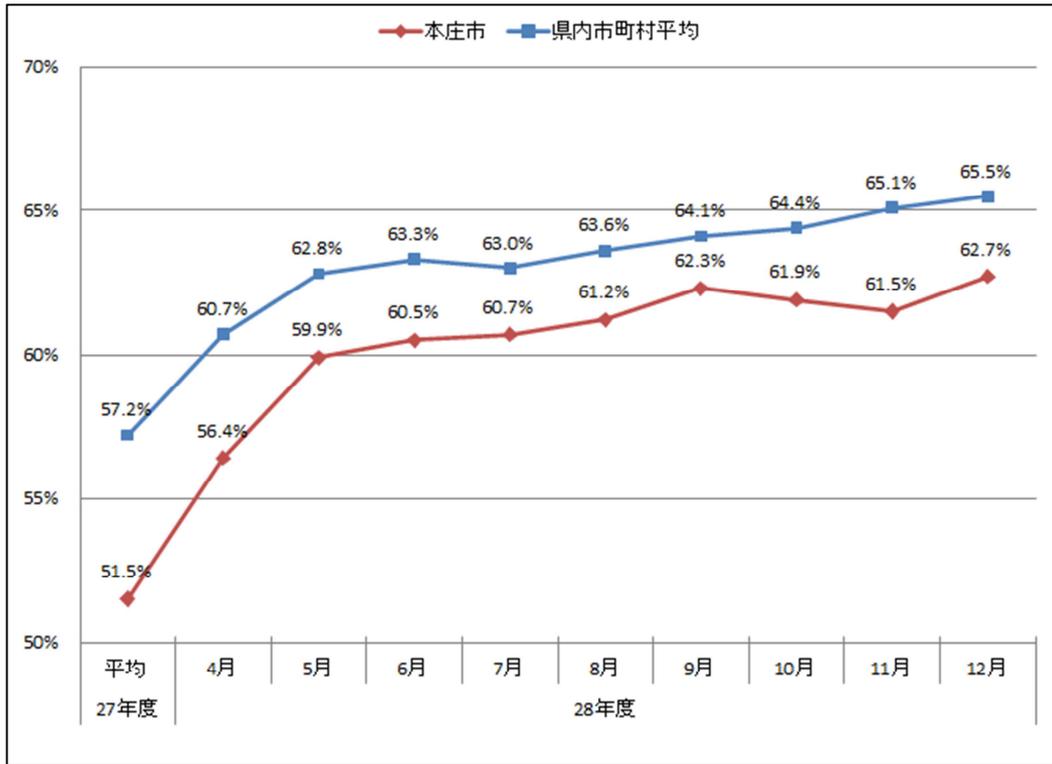


図 23 ジェネリック医薬品利用率の推移

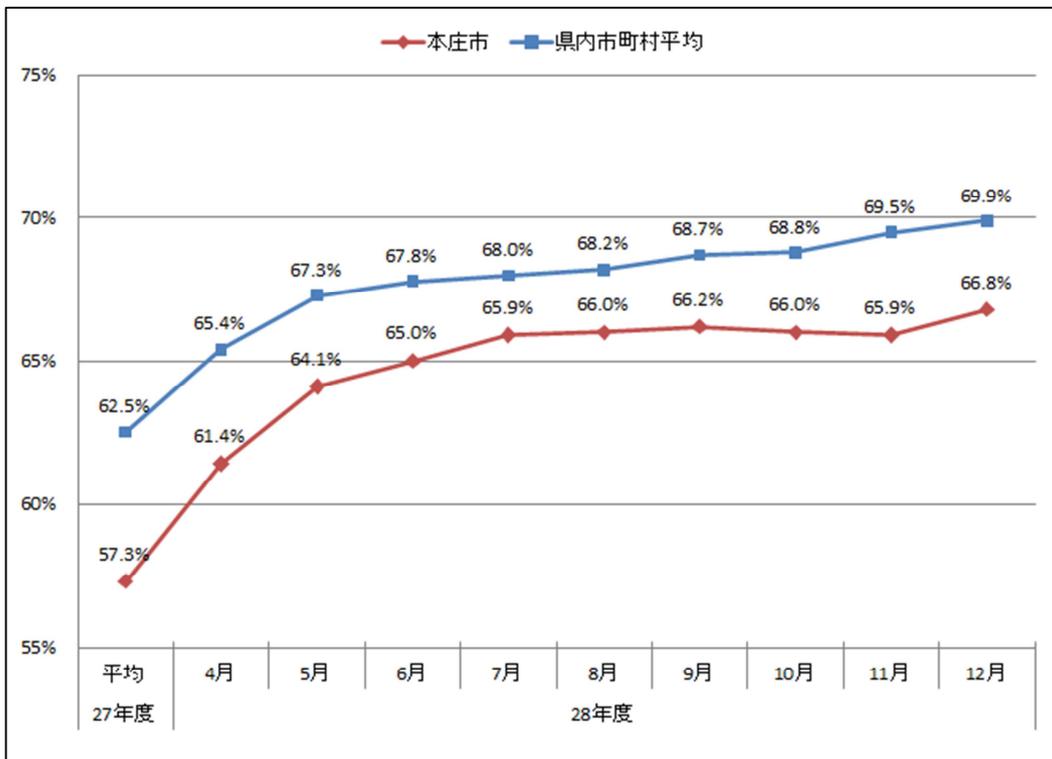
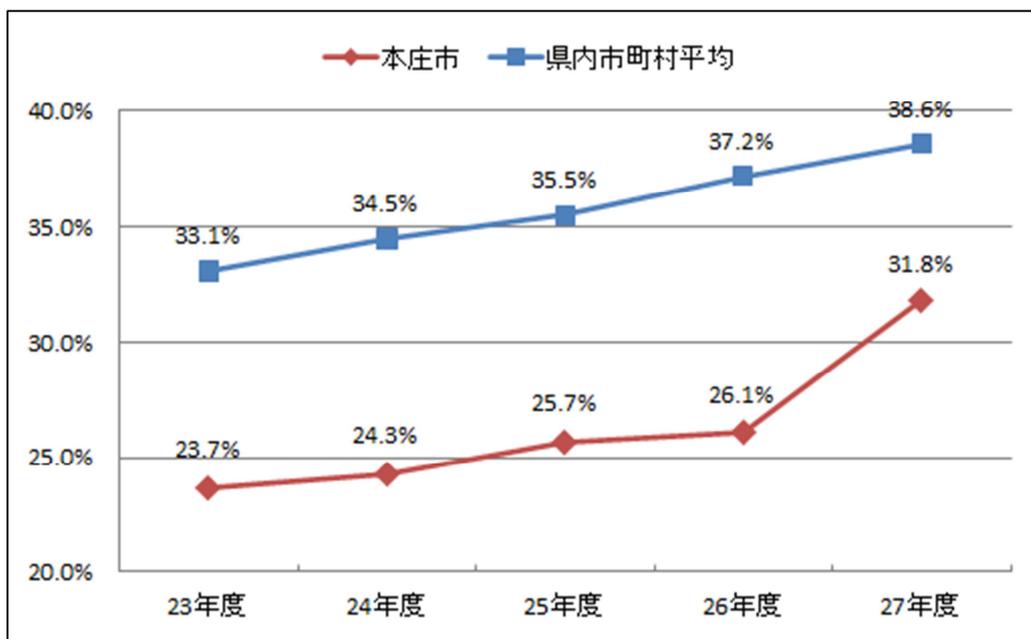


図 24 ジェネリック医薬品数量シェアの推移

3. 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

(1) 特定健康診査受診状況

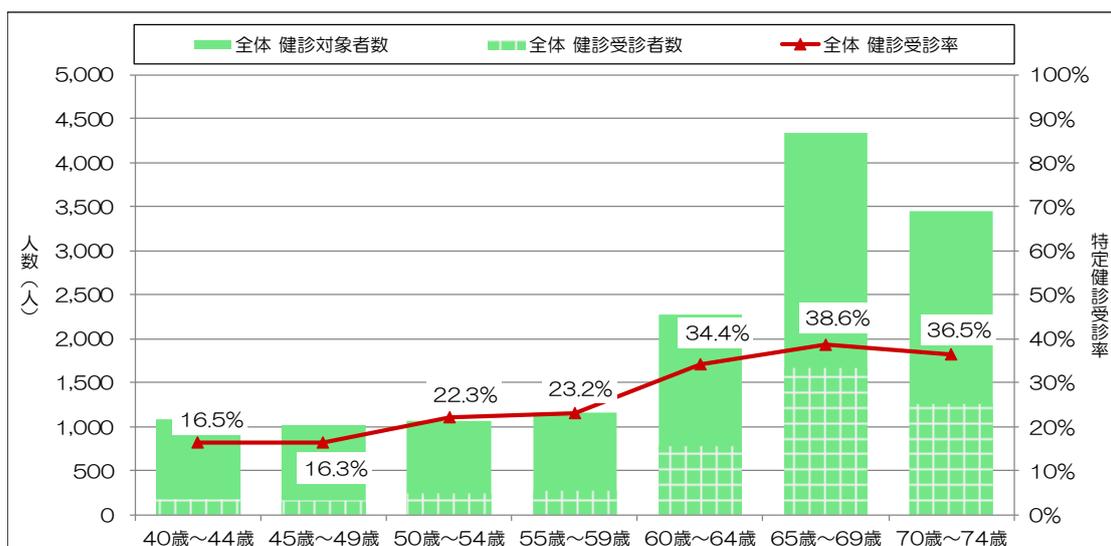
本市の特定健康診査の受診率は平成26年度まで微増で推移し、埼玉県の平均と比較して10%近く低い割合となっていました。そこで受診率向上の大きな取組みとして、平成27年度に「集団健診の健診料の無料化」「医療機関での個別健診」「健診予約コールセンターの設置」を実施した結果、前年度から5%以上上昇しました。さらに、平成28年度は集団健診全日程での肺がん検診の同時実施を行い、被保険者の利便性向上に努めています。しかしながら、埼玉県と比較するとまだ低い割合です。



※平成23年度～27年度「特定健診・特定保健指導被保険者別実施状況（法定報告）」より

図 25 特定健康診査受診率の推移（平成23～27年度）

年齢階層別の特定健康診査の受診率をみると、40歳代は16%程度ですが、70歳代になると35%を超えます。65歳～69歳の健診対象者数、健診受診者数が最も多くなっており、受診率は38.6%でした。



※国保データベース（KDB）システム「健診の状況」より

図 26 特定健康診査年齢階層別受診率（平成27年度）

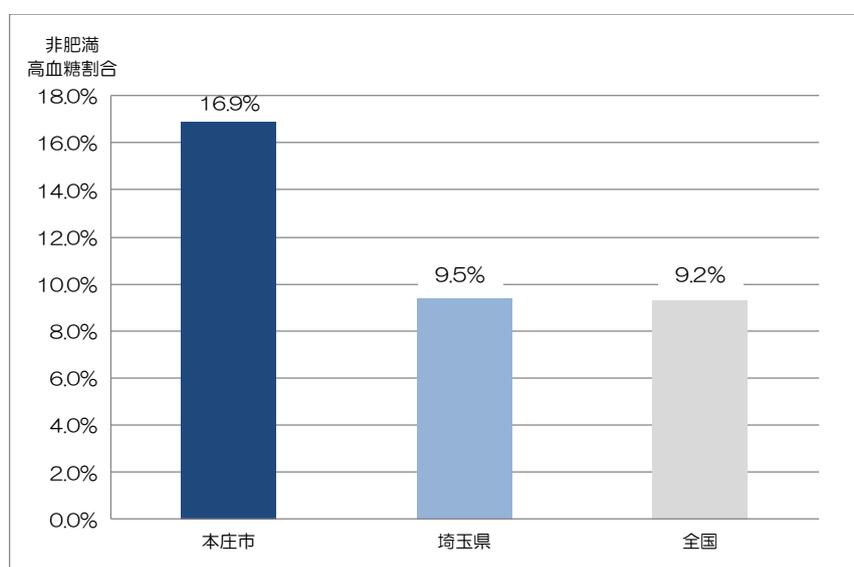
メタボ該当者、メタボ予備群の割合をみると、男性のメタボ該当者は27.7%で、埼玉県とは1.4%、全国と比較して1.2%高い水準となっています。その一方、女性は、メタボ該当者で約1%、予備群で0.7%、埼玉県、全国よりも低くなっています。

表 14 メタボリックシンドローム該当者（平成 27 年度）

	メタボ該当者割合		メタボ予備群割合	
	男性	女性	男性	女性
本庄市	27.7%	8.2%	15.2%	5.1%
埼玉県	26.2%	9.1%	17.4%	5.7%
全国	26.6%	9.2%	17.1%	5.8%

※国保データベース（KDB）システム 「地域の全体像の把握」より

非肥満高血糖割合をみると、16.9%となっており、埼玉県や全国と比較して高い水準となっています。

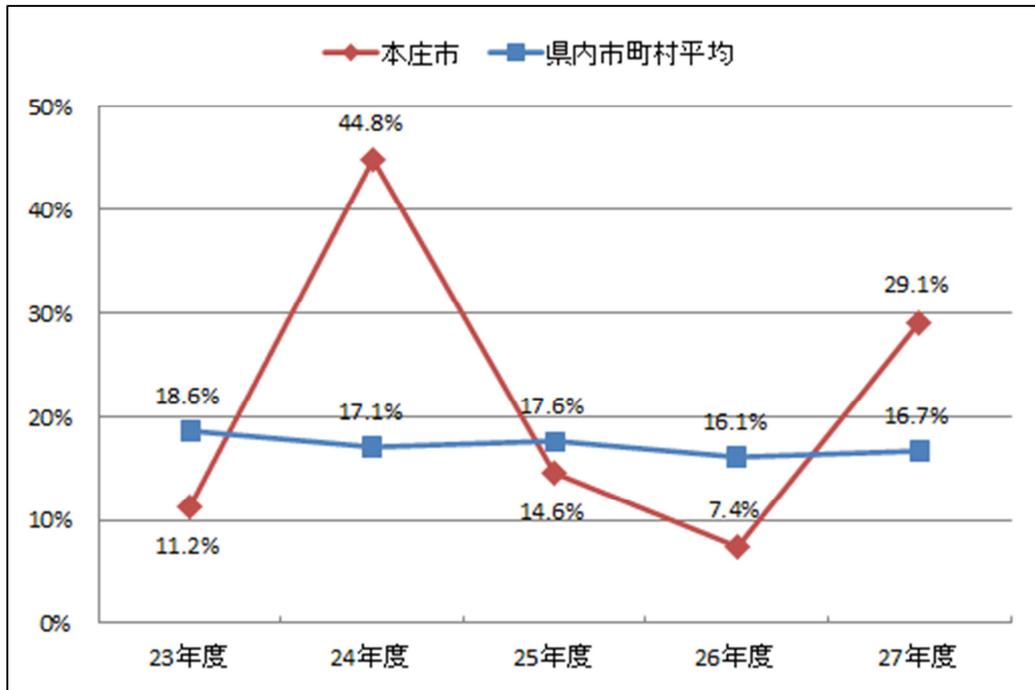


※国保データベース（KDB）システム 「地域の全体像の把握」より

図 27 非肥満高血糖割合（平成 27 年度）

(2) 特定保健指導実施状況

特定保健指導の実施率の年度推移を見ると、埼玉県の市町村平均の実施率は17%前後で推移しているのに対し、本市の実施率は市町村平均よりも高い年度と低い年度が交互に現れ、年度により実施率が大きく変動しています。また、特定保健指導は初回面接後6ヶ月間にわたる長期間の保健指導を行うため、初回面接には参加しても保健指導の途中で止めてしまう方が多数見受けられます。



※平成23年度～27年度「特定健診・特定保健指導保険者別実施状況（法定報告）」より

図 28 特定保健指導実施率の推移（平成23～27年度）

表 15 特定保健指導取組み状況（平成23～27年度）

支援内容	実施率 (初回・終了)	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	動機づけ支援	初回面接実施率	22.5%	77.2%	19.6%	17.8%
	終了者実施率	14.8%	56.0%	17.2%	9.1%	39.5%
積極的支援	初回面接実施率	16.9%	54.2%	9.1%	8.8%	38.1%
	終了者実施率	2.4%	16.2%	8.1%	3.8%	3.9%
合計	初回面接実施率	20.9%	70.5%	16.4%	14.9%	51.7%
	終了者実施率	11.2%	44.8%	14.6%	7.4%	29.1%

(3) 特定健康診査及びレセプトによる指導対象者の状況

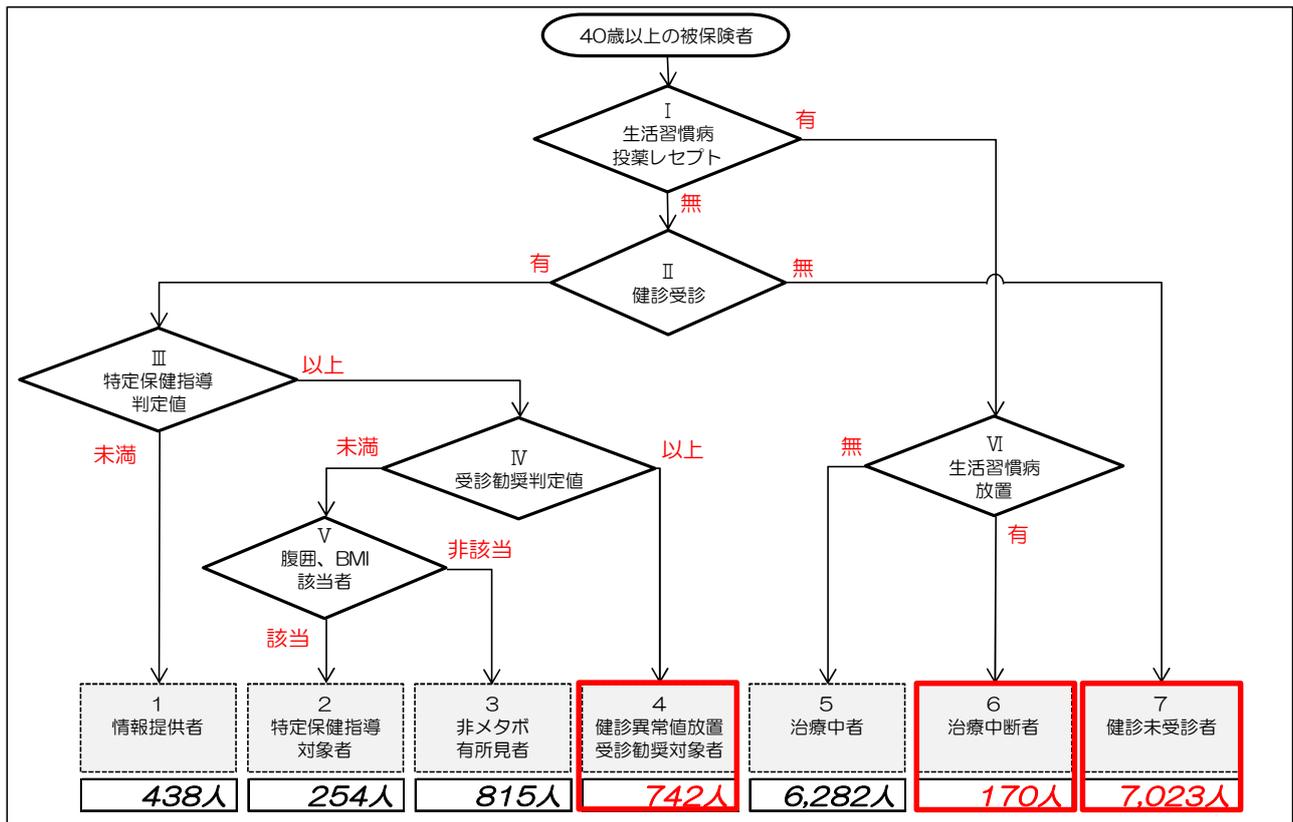
特定健康診査の受診状況と医療機関への通院状況から、下記のとおり分類しました。

その中で「4 健診異常値放置受診勧奨対象者」は、特定健康診査の結果値が受診勧奨領域にありますが、生活習慣病に関するレセプトが発生していない（医療機関へ通院していない）人であり、742 人いることがわかります。

また、「6 治療中断者」は、生活習慣病で医療機関を通院していたが、治療行為を中断してしまっている人であり、170 人いることがわかります。

最後に、「7 健診未受診者」は、医療機関へも通院しておらず、また特定健康診査も受診していない人で、健康な人も含まれていると考えられますが、健康状態が不明な人であり、7,023 人いることがわかります。

図 29 健診及びレセプトによる指導対象者の状況



※レセプトデータは医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※健診データは平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)を集計。

(4) 特定健康診査受診有無による医療費の状況

特定健康診査の受診者と未受診者の生活習慣病の一人当たり年間医療費を比較すると、疾病の種類に関わらず特定健康診査受診者の一人当たり医療費の方が低くなっています。

- 1 疾病患者の一人当たり年間医療費で比較すると特定健康診査受診者は 313,500 円で、未受診者の 514,817 円と比較して 20 万円以上低くなっています。
- 2 疾病併存患者の一人当たり年間医療費では、特定健康診査受診者が 422,828 円で、未受診者の 590,099 円と比較して、16 万円以上低くなっています。
- 3 疾病併存患者の一人当たり年間医療費にいたっては、特定健康診査受診者が 477,356 円に対し、未受診者は 837,923 円で、36 万円以上も低くなっています。このように特定健康診査の受診者のほうが未受診者よりも生活習慣病の一人当たり年間医療費がかなり低くなっています。

表 16 特定健康診査受診有無による医療費の状況

【特定健康診査未受診者】					
罹患状態 (投薬のある患者)	患者数(人)※	医療費(円)※		医療費合計 (円)	一人当たり 医療費(円)
		入院	入院外		
1疾病患者合計	2,604	487,069,050	853,514,920	1,340,583,970	514,817
高血圧症	1,772	364,134,940	626,312,310	990,447,250	558,943
脂質異常症	581	70,102,590	151,290,370	221,392,960	381,055
糖尿病	251	52,831,520	75,912,240	128,743,760	512,923
2疾病併存患者合計	1,791	321,377,920	735,488,810	1,056,866,730	590,099
高血圧症・糖尿病	463	123,193,580	262,695,180	385,888,760	833,453
糖尿病・脂質異常症	166	27,576,720	69,784,960	97,361,680	586,516
脂質異常症・高血圧症	1,162	170,607,620	403,008,670	573,616,290	493,646
3疾病併存患者合計	498	122,609,920	294,675,520	417,285,440	837,923
高血圧・脂質異常症・糖尿病					

【特定健康診査受診者】					
罹患状態 (投薬のある患者)	患者数(人)※	医療費(円)※		医療費合計 (円)	一人当たり 医療費(円)
		入院	入院外		
1疾病患者合計	1,078	65,743,740	272,209,540	337,953,280	313,500
高血圧症	663	43,757,200	169,599,770	213,356,970	321,805
脂質異常症	347	16,872,410	85,305,080	102,177,490	294,460
糖尿病	68	5,114,130	17,304,690	22,418,820	329,689
2疾病併存患者合計	515	44,547,300	173,209,060	217,756,360	422,828
高血圧症・糖尿病	84	2,469,610	54,464,800	56,934,410	677,791
糖尿病・脂質異常症	47	1,204,410	13,481,290	14,685,700	312,462
脂質異常症・高血圧症	384	40,873,280	105,262,970	146,136,250	380,563
3疾病併存患者	94	5,898,040	38,973,390	44,871,430	477,356
高血圧・脂質異常症・糖尿病					

※レセプトデータは医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※健診データは平成27年4月～平成28年3月診療分(12カ月分)を集計。

※患者数…該当傷病名で投薬のある患者のみ集計する。

※医療費…対象診療年月における該当患者の医療費全体。生活習慣病に関する医療費に限らない。

第3章 過去の取り組みの考察

平成18年の医療制度改革における「高齢者の医療の確保に関する法律」の改正に伴い、平成20年度から特定健康診査・特定保健指導の仕組みが導入され、医療保険者にその実施が義務付けられた。その他実施してきた保健事業とその課題は以下のとおりである。

表 17 過去の取り組みの考察

事業名	事業の目的・概要	対象	開始年度	実施状況	課題	
特定健康診査	特定健康診査（集団健診）	疾病の発症予防、早期発見のため健診を実施する。	40歳～74歳の被保険者	平成20年度	平成27年度 受診率 25.0%	受診率が低い。 特定の被保険者のみ受診する傾向がみられる。
	特定健康診査（個別健診） （ハガキ送付）	受診率向上を目的に、未受診者にハガキで個別健診の受診勧奨を行う。	未受診者	平成27年度	平成27年度 実施後受診率 29.6%	
	広報・啓発	特定健康診査・健康づくりチャレンジポイント事業の啓発活動、広報活動	市民全員	平成20年度	ケーブルテレビ、広報紙、市ホームページ、回覧板、ポスター、チラシでのPRを実施。 スプレッドシートでブースを出展。	効果が把握できない。
	人間ドック助成	40歳以上の人間ドック受診者の健診データを取得し、特定健康診査の受診率を上げる。	人間ドック受診者	平成18年度	平成27年度 助成件数 584件	
特定保健指導	生活習慣改善のための指導を実施する。	特定保健指導対象者	平成20年度	平成27年度 実施率 51.7% (修了実施率 29.1%)		
重症化予防	生活習慣病重症化予防事業	糖尿病性腎症患者の重症化予防事業	国民健康保険被保険者	平成28年度	平成28年度 未受診者勧奨 40人 受診中断者勧奨 10人 保健指導 11人	保健指導実績が少ない
医療費適正化事業	ジェネリック医薬品利用差額通知	被保険者負担の軽減、国民健康保険の医療費抑制のために、通知を送付する。	軽減額が一定以上となる被保険者	平成25年度	平成27年度 発送件数 1,100件	
その他の保健事業	各種がん検診	がんの早期発見・早期治療を図るために検診を実施する。	対象年齢の市民		平成27年度 ・胃がん受診率 11.3% ・大腸がん受診率 14.0% ・肺がん受診率 14.5% ・乳がん受診率 12.7% ・子宮頸がん受診率 14.9% ・前立腺がん受診率 11.4%	受診率が低い。

第4章 実施事業

1. 健康課題の抽出と対策の方向性

第2章、第3章を踏まえ、健康課題の抽出と対策の方向性を検討する。

現状から見える主な健康課題		対策の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 「循環器系の疾患」の医療費は高くなっており、その中で「高血圧性疾患」の医療費の割合が高く、患者数が多くなっている。また、重症化することで発症する「その他の心疾患」、「虚血性心疾患」の割合も高くなっている。 「内分泌、栄養及び代謝疾患」の中で「糖尿病」や脂質異常症が含まれる「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」の医療費の割合が高くなっている。 「腎尿路生殖器系の疾患」の中で「腎不全」の医療費の割合が高くなっている。腎不全のうち「糖尿病性腎症」を起因とした人工透析患者が多く、人工透析患者は年間540万円近い医療費がかかってくる。 	<p>「循環器系の疾患」（高血圧症）や「内分泌、栄養及び代謝疾患」（脂質異常症、糖尿病）は予防対策が可能であり、特定健診データからリスク者を特定可能であるため、最も介入効果が期待される疾病として位置づけ対策を講じていく。</p> <p>人工透析の起因となる「糖尿病性腎症」をテーマに対策を講じていく。糖尿病の重症化により「糖尿病性腎症」、「腎不全」、「人工透析」になるのを予防する。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査の結果値が受診勧奨領域にあるが、医療機関へ通院していない健診異常値放置者は742人いる。 生活習慣病で医療機関を通院していたが、治療行為を中断してしまっている治療中断者は170人いる。 メタボ割合は、女性は、埼玉県、全国よりも低くなっているが、男性は埼玉県や全国と比較して高くなっている。また、非肥満高血糖割合は埼玉県や全国と比較して高くなっている 	<p>生活習慣病のうち「高血圧症」、「脂質異常症」、「糖尿病」をテーマに、非肥満者も含めた早期治療のための医療機関への受診勧奨を行う。対象者が自らのリスクを正しく認識できていない可能性も考えられるため、健診データ等を活用した対策を講じていく。</p> <p>生活習慣病のうち「高血圧症」、「脂質異常症」、「糖尿病」をテーマに、医療機関への継続的な受診を促す。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 「新生物」の医療費、患者一人当たり医療費が高くなっており、その中で「その他の悪性新生物」、「気管、気管支及び肺の悪性新生物」の医療費の割合が高くなっている。 	<p>「悪性新生物（がん）」の早期発見、早期治療開始を目指し、各種がん検診の受診率を上げる。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 40歳代までは、「呼吸器系の疾患」や「メンタル系の疾患」の医療費が高くなっている。 重複受診者は204人、頻回受診者は421人、重複服薬者は350人いる。 <p>ジェネリック医薬品の利用率は平成28年12月審査分で62.7%、数量シェアは66.8%である。</p>	<p>「喘息」予防のための生活習慣や生活環境の改善、「メンタル系の疾患」の早期治療の必要性など、加入者へ対して積極的な情報提供を行う。</p> <p>過度な受診や服薬の可能性のある対象者へ受療習慣、生活習慣の改善を促す指導を行う。</p> <p>ジェネリック医薬品への切り替えを促す通知を送付する。</p>	
本市の特徴	対策の検討時に留意すべき点	
<p>基本情報</p> <ul style="list-style-type: none"> 60歳以上の国保加入者の割合が埼玉県や全国と比べて高くなっている。 全国と比較して人口当たりの病院数は埼玉県、全国と比較して多くなっているが、医師数は少なくなっている。 男性の平均寿命は79.0歳、女性の平均寿命は85.6歳であり、埼玉県、全国と比較して低くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 60歳以上の加入者への対策を重視するとともに、それ以前の世代への対策を検討。 医療資源の効率的に活用することを重視。 	
<p>保健事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査の受診率が埼玉県、全国と比較して低い。 生活習慣病のリスク保有者への対策が特定保健指導のみ。 がん検診の受診率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査・特定保健指導・がん検診の受診勧奨の促進とメニューの見直し。 生活習慣病のリスク保有者に対する支援を検討。 	

図 30 健康課題の抽出と対策の方向性

2. 実施事業の選定

現状の実施事業や対策の方向性を鑑み、実施事業を選定します。

中長期的な視点から、費用対効果の大きな事業を選定します。



図 31 実施事業の選定

3. 実施事業の内容

本計画に位置づける各保健事業の概要と目標を以下のとおり定める。

表 18 実施事業の内容

実施事業・事業概要	対象	目標	
		アウトプット	アウトカム
① 特定健康診査			
特定健康診査 疾病の発症予防、早期発見のため健診を実施する。	40歳～74歳の被保険者	受診率 60%	-
特定健康診査受診勧奨 未受診者に受診勧奨を行う。	未受診者	未受診者100%受診勧奨	送付後の受診率 6%
広報 ケーブルテレビ、広報紙やホームページ、自治会回覧板でのPRを実施する。	市民全員	広報実施回数 10回	-
イベントでの啓発 各種イベントでPRを実施する。	市民全員	イベント参加件数 4件	-
人間ドック助成 人間ドックの受診者に補助金を出す。	人間ドック受診者	受診者数 800人	-
② 特定保健指導			
特定保健指導 生活習慣改善のための指導を実施する。	特定保健指導対象者	実施率 60%	-
特定保健指導利用勧奨 特定保健指導利用勧奨を行う。	未利用者	未利用者100%利用勧奨	送付後利用率 5%
③ 重症化予防指導（※） 糖尿病患者のうち、糖尿病関連の検査項目値や治療状況から選定して対象者に対して、専門職が6カ月の面談指導と電話フォローを実施する。			
糖尿病性腎症患者	指導実施者数 30人	検査値改善率 50% 人工透析移行者数 0人	
④ 健診異常値未治療者への受診勧奨（※） 糖尿病関連の検査項目に異常値があるにも関わらず医療機関への受診が確認できない対象者にハガキや電話で受診勧奨を行う。			
健診異常値未治療者（糖尿病、高血圧症、高脂血症他）	受診勧奨件数 50件	糖尿病	勧奨後の受診者数 10人
⑤ 治療中断者への受診勧奨（※） 糖尿病の治療を受けていたにも関わらず、一定期間医療機関への受診が確認できない対象者にハガキや電話で受診勧奨を行う。			
治療中断者（糖尿病、高血圧症、高脂血症他）	受診勧奨件数 20件	糖尿病	勧奨後の受診者数 10人
⑥ がん検診 がんの早期発見・早期治療を図るために検診を実施する。			
対象年齢の市民	胃がん検診受診率 40% 肺がん検診受診率 40% 大腸がん検診受診率 40% 乳がん検診受診率 50% 子宮がん検診受診率 50% 前立腺がん検診受診率 40%		-
⑦ 多受診者指導 重複受診者、重複服薬者、頻回受診者に対して面談指導と電話フォローを実施する。			
重複受診者 重複服薬者 頻回受診者	指導実施率 10%		
⑧ ジェネリック医薬品切り替え通知 先発医薬品の利用者のうち、ジェネリック医薬品通知により医療費の削減が見込まれる対象者へ送付する。			
軽減額が一定以上となる被保険者	送付件数 3,000件		ジェネリック医薬品数量シェア 80%

※上記③～⑤の事業については、埼玉県、埼玉県国民健康保険団体連合会の実施する生活習慣病重症化予防対策事業に参加し実施。

第5章 その他

1. データヘルス計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表します。

2. データヘルス計画の改定

実施事業における目的及び目標の達成状況について評価を行うこととし、達成状況により次年度実施計画の見直しを行います。本計画は、広報、ホームページ等で公表します。

3. 事業運営上の留意事項

(1) 各種検（健）診等の連携

特定健康診査の実施に当たっては、健康増進法に基づき実施する検（健）診等とも可能な限り連携して実施するものとします。

(2) 健康づくり事業との連携

特定健康診査・特定保健指導は、被保険者のうち40歳から74歳までの方が対象になります。しかし、生活習慣病予防のためには、40歳より若い世代へ働きかけ、生活習慣病のリスクの周知や日々の生活スタイルを見直していくことが重要になります。そのためには、関係部署が実施する保健事業とも連携しながら、生活習慣病予防を推進していく必要がある。

4. 個人情報保護の保護

特定健康診査及び特定保健指導に関わる個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」「本庄市個人情報保護条例」に基づき管理する。

また、特定健康診査及び特定保健指導にかかわる業務を外部に委託する際も同様に取り扱われるよう委託契約書に定める。

資 料 編

基礎統計

		平成27年2月	平成27年3月	平成27年4月	平成27年5月	平成27年6月	平成27年7月	平成27年8月	
A	被保険者数（人）	22,518	22,553	22,756	22,515	22,478	22,465	22,331	
B	レセプト件数（件）	入院外	13,572	14,704	14,545	14,198	14,744	14,676	13,849
		入院	398	431	425	398	392	461	446
		調剤	9,012	9,783	9,595	9,169	9,451	9,494	8,927
		合計	22,982	24,918	24,565	23,765	24,587	24,631	23,222
C	医療費（円） ※	479,077,220	541,387,950	525,680,290	490,488,650	523,409,710	557,252,120	521,853,370	
D	患者数（人） ※	10,440	11,066	10,912	10,633	10,870	10,860	10,412	
C/D	患者一人当たりの平均医療費（円）	45,889	48,924	48,175	46,129	48,152	51,312	50,120	
C/A	被保険者一人当たりの平均医療費（円）	21,275	24,005	23,101	21,785	23,285	24,805	23,369	
C/B	レセプト一件当たりの平均医療費（円）	20,846	21,727	21,400	20,639	21,288	22,624	22,472	

		平成27年9月	平成27年10月	平成27年11月	平成27年12月	平成28年1月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数（人）	22,207	22,246	22,207	22,194	22,128	22,383		
B	レセプト件数（件）	入院外	14,007	14,837	14,027	14,770	13,281	14,268	171,210
		入院	412	424	444	406	410	421	5,047
		調剤	9,133	9,800	9,257	9,853	8,898	9,364	112,372
		合計	23,552	25,061	23,728	25,029	22,589	24,052	288,629
C	医療費（円） ※	521,304,400	591,376,900	538,249,200	585,467,860	566,802,810	536,862,540	6,442,350,480	
D	患者数（人） ※	10,611	10,925	10,588	10,967	10,155	10,703	128,439	
C/D	患者一人当たりの平均医療費（円）	49,129	54,131	50,836	53,385	55,815	50,159		
C/A	被保険者一人当たりの平均医療費（円）	23,475	26,584	24,238	26,380	25,615	23,985		
C/B	レセプト一件当たりの平均医療費（円）	22,134	23,597	22,684	23,392	25,092	22,321		

※レセプトデータは医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。
 ※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。
 ※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

高額（5万点以上）レセプト件数及び割合

		平成27年2月	平成27年3月	平成27年4月	平成27年5月	平成27年6月	平成27年7月	平成27年8月
A	レセプト件数全体（件）	22,982	24,918	24,565	23,765	24,587	24,631	23,222
B	高額（5万点以上）レセプト件数（件）	125	151	159	122	129	155	152
B/A	件数構成比（％）	0.5%	0.6%	0.6%	0.5%	0.5%	0.6%	0.7%
C	医療費全体（円） ※	479,077,220	541,387,950	525,680,290	490,488,650	523,409,710	557,252,120	521,853,370
D	高額（5万点以上）レセプトの医療費（円）	117,305,360	144,156,660	136,213,180	115,341,810	128,932,850	155,290,760	143,689,530
D/C	金額構成比（％）	24.5%	26.6%	25.9%	23.5%	24.6%	27.9%	27.5%

		平成27年9月	平成27年10月	平成27年11月	平成27年12月	平成28年1月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数全体（件）	23,552	25,061	23,728	25,029	22,589	24,052	288,629
B	高額（5万点以上）レセプト件数（件）	147	166	161	166	174	151	1,807
B/A	件数構成比（％）	0.6%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	0.6%	
C	医療費全体（円） ※	521,304,400	591,376,900	538,249,200	585,467,860	566,802,810	536,862,540	6,442,350,480
D	高額（5万点以上）レセプトの医療費（円）	149,013,460	189,394,170	166,682,330	196,742,610	203,820,020	153,881,895	1,846,582,740
D/C	金額構成比（％）	28.6%	32.0%	31.0%	33.6%	36.0%	28.7%	

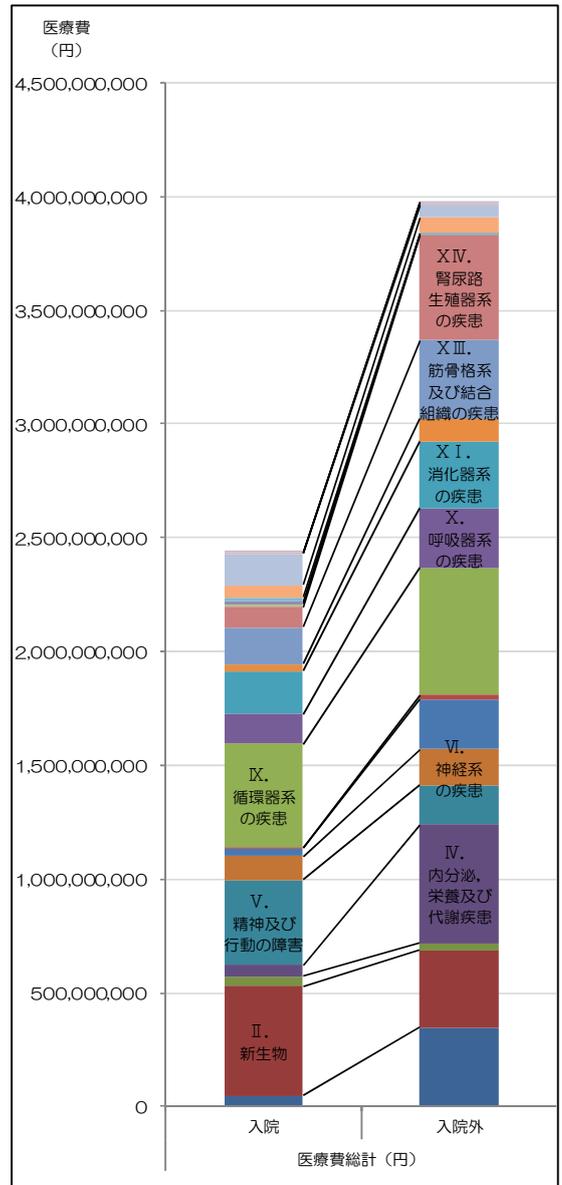
※レセプトデータは医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※医療費全体…対象診療年月の医科、調剤の電子レセプト全体での医療費。

大分類による疾病別医療費統計（入院・入院外）

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病項目（大分類）	医療費総計（円） ※	
	入院	入院外
I. 感染症及び寄生虫症	46,985,500	345,798,240
II. 新生物	483,237,420	343,008,300
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	42,579,880	30,733,670
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	50,468,920	519,632,970
V. 精神及び行動の障害	371,143,030	172,499,720
VI. 神経系の疾患	106,865,500	160,317,810
VII. 眼及び付属器の疾患	31,686,140	218,348,890
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	5,803,210	18,336,630
IX. 循環器系の疾患	454,977,240	559,821,010
X. 呼吸器系の疾患	131,692,810	261,399,330
XI. 消化器系の疾患	187,892,980	294,692,590
XII. 皮膚及び皮下組織の疾患	32,071,510	98,581,250
XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患	161,968,190	345,531,030
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	88,042,900	462,817,830
XV. 妊娠、分娩及び産じょく	13,016,610	1,993,470
XVI. 周産期に発生した病態	10,594,520	1,912,650
XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常	20,414,950	3,943,320
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	53,672,220	66,859,480
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	135,822,780	56,518,930
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	6,852,490	9,656,340
XXII. 特殊目的用コード	0	0
分類外	606,850	985,650
合計	2,436,395,650	3,973,389,110



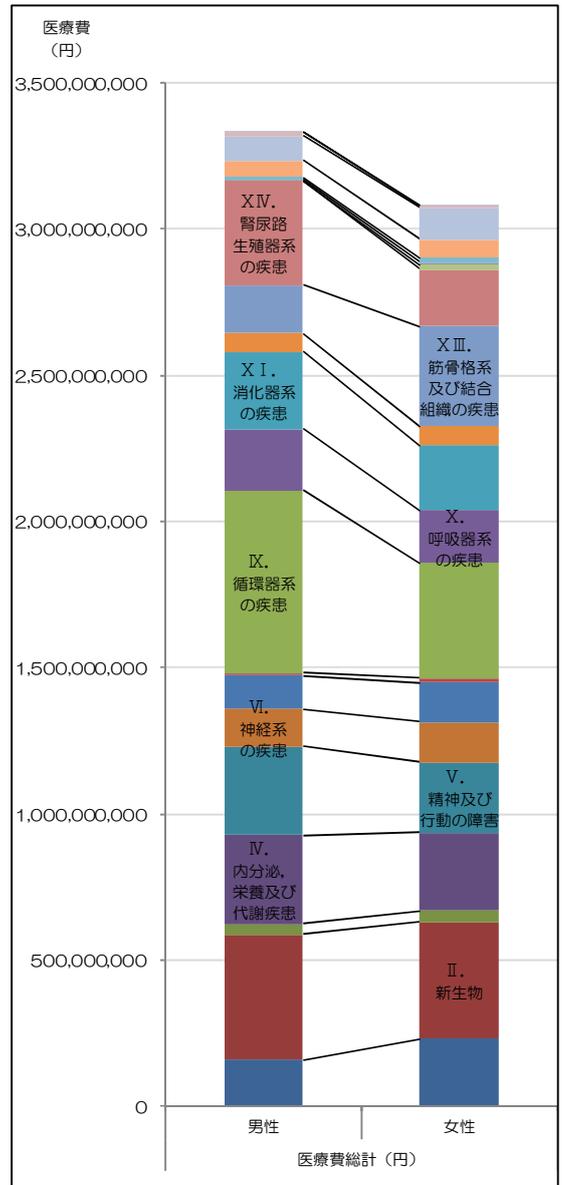
※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、調剤レセプトの医療費は集計できない。そのため他統計と一致しない。

大分類による疾病別医療費統計（男性・女性）

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

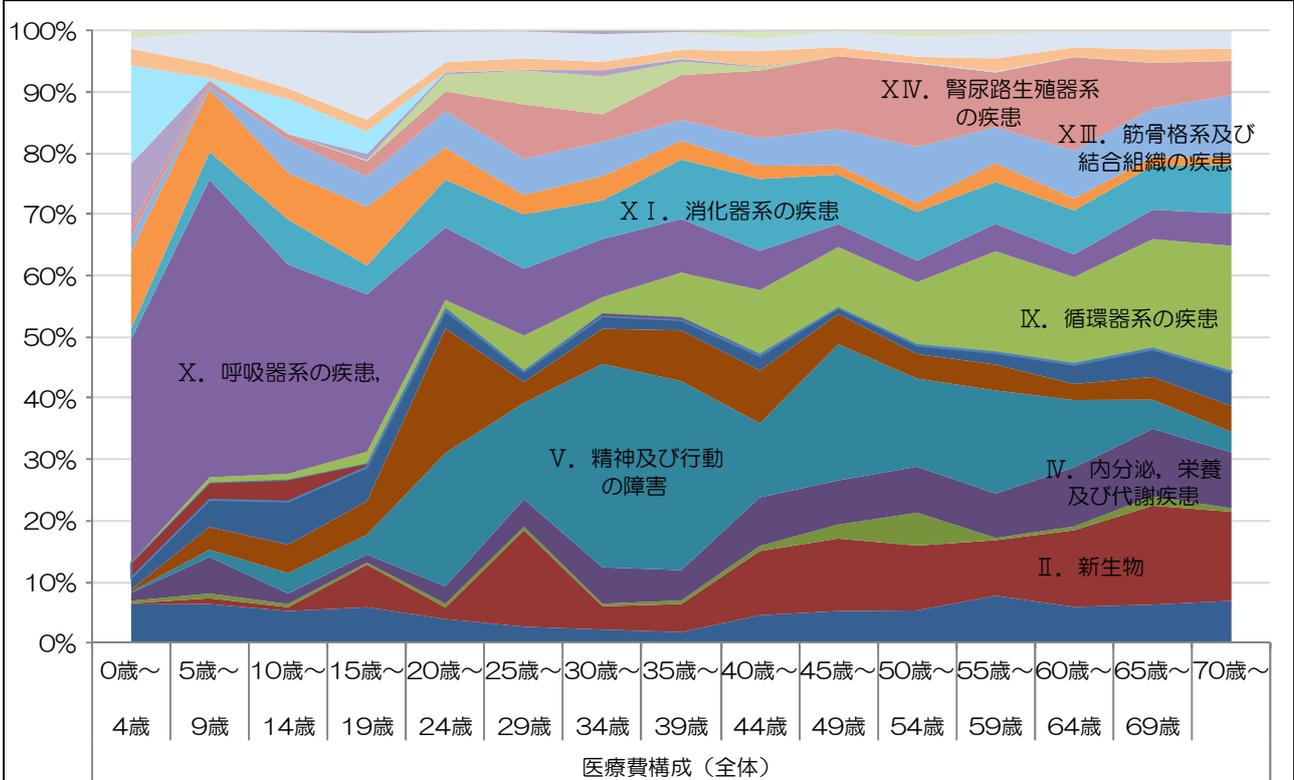
疾病項目（大分類）	医療費総計（円） ※	
	男性	女性
I. 感染症及び寄生虫症	160,427,330	232,356,410
II. 新生物	428,927,330	397,318,390
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	33,618,720	39,694,830
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	303,273,860	266,828,030
V. 精神及び行動の障害	302,990,690	240,652,060
VI. 神経系の疾患	130,554,290	136,629,020
VII. 眼及び付属器の疾患	114,870,490	135,164,540
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	9,076,800	15,063,040
IX. 循環器系の疾患	621,514,820	393,283,430
X. 呼吸器系の疾患	212,725,810	180,366,330
X I. 消化器系の疾患	261,785,140	220,800,430
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	63,408,850	67,243,910
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	165,491,340	342,007,880
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	356,040,260	194,820,470
X V. 妊娠、分娩及び産じょく	1,730	15,008,350
X VI. 周産期に発生した病態	2,726,390	9,780,780
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	9,286,670	15,071,600
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	59,289,760	61,241,940
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	83,366,050	108,975,660
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	11,382,600	5,126,230
X X II. 特殊目的用コード	0	0
分類外	395,700	1,196,800
合計	3,331,154,630	3,078,630,130



※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない（画像レセプト、月遅れ等）場合、調剤レセプトの医療費は集計できない。そのため他統計と一致しない。

年齢階層別医療費構成（全体）



- 分類外
- XX II. 特殊目的用コード
- XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
- XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常
- XVI. 周産期に発生した病態
- XV. 妊娠、分娩及び産じょく
- XIV. 腎尿路生殖器系の疾患
- XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患
- XII. 皮膚及び皮下組織の疾患
- XI. 消化器系の疾患
- X. 呼吸器系の疾患
- IX. 循環器系の疾患
- VIII. 耳及び乳様突起の疾患
- VII. 眼及び付属器の疾患
- VI. 神経系の疾患
- V. 精神及び行動の障害
- IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
- III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- II. 新生物
- I. 感染症及び寄生虫症

※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

本庄東中学校区	本庄西中学校区	本庄南中学校区	児玉中学校区	その他
---------	---------	---------	--------	-----

大分類による疾病別医療費統計(本庄東中学校区)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	医科 レセプト 件数 ※	順位	患者数 ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	95,156,690	7.0%	8	3,453	12	1,401	8	67,921	7
II. 新生物	134,710,810	9.9%	3	3,243	13	1,199	10	112,353	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	16,121,550	1.2%	15	1,201	15	509	15	31,673	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	135,378,250	10.0%	2	13,178	2	2,031	3	66,656	8
V. 精神及び行動の障害	120,537,810	8.9%	4	4,253	7	617	14	195,361	1
VI. 神経系の疾患	63,954,150	4.7%	10	6,245	6	990	12	64,600	10
VII. 眼及び付属器の疾患	51,671,150	3.8%	11	3,702	10	1,445	7	35,759	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	4,393,410	0.3%	16	788	17	423	16	10,386	21
IX. 循環器系の疾患	212,629,720	15.7%	1	15,005	1	2,019	4	105,314	3
X. 呼吸器系の疾患	86,562,770	6.4%	9	8,173	5	2,524	1	34,296	14
X I. 消化器系の疾患	104,599,700	7.7%	7	11,634	3	2,279	2	45,897	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	27,442,270	2.0%	14	4,003	8	1,495	6	18,356	20
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	119,020,030	8.8%	5	9,442	4	1,786	5	66,641	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	105,345,690	7.8%	6	3,718	9	1,085	11	97,093	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく	3,682,770	0.3%	18	87	19	36	19	102,299	4
X VI. 周産期に発生した病態	1,008,540	0.1%	20	25	21	14	21	72,039	6
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	2,027,400	0.1%	19	252	18	97	18	20,901	17
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	29,987,860	2.2%	13	3,676	11	1,292	9	23,210	16
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	36,146,180	2.7%	12	1,887	14	867	13	41,691	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,827,100	0.3%	17	817	16	193	17	19,830	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%	22	0	22	0	22	0	22
分類外	443,050	0.0%	21	38	20	23	20	19,263	19
合計	1,354,646,900	100.0%		40,477		4,517		299,900	

※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、調剤レセプトの医療費は集計できない。
そのため他統計と一致しない。

※医科レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

本庄東中学校区	本庄西中学校区	本庄南中学校区	児玉中学校区	その他
---------	---------	---------	--------	-----

大分類による疾病別医療費統計(本庄西中学校区)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	医科 レセプト 件数 ※	順位	患者数 ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	66,544,860	5.6%	8	3,000	10	1,159	7	57,416	10
II. 新生物	142,409,010	12.0%	2	2,778	13	963	10	147,881	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	7,654,250	0.6%	15	1,002	15	374	15	20,466	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	109,382,390	9.2%	4	10,944	2	1,747	3	62,612	8
V. 精神及び行動の障害	125,545,070	10.6%	3	3,447	8	503	14	249,593	2
VI. 神経系の疾患	50,456,010	4.3%	10	5,112	6	774	12	65,189	6
VII. 眼及び付属器の疾患	47,435,490	4.0%	11	3,471	7	1,196	6	39,662	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	4,919,970	0.4%	16	757	16	358	16	13,743	20
IX. 循環器系の疾患	189,136,040	16.0%	1	11,878	1	1,591	4	118,879	5
X. 呼吸器系の疾患	65,229,930	5.5%	9	6,866	5	2,017	1	32,340	15
X I. 消化器系の疾患	92,384,710	7.8%	7	9,812	3	1,974	2	46,801	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	20,443,940	1.7%	14	3,394	9	1,157	8	17,670	19
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	92,511,650	7.8%	6	7,737	4	1,498	5	61,757	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	100,403,630	8.5%	5	2,976	11	843	11	119,103	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく	1,675,110	0.1%	19	55	20	26	19	64,427	7
X VI. 周産期に発生した病態	3,649,690	0.3%	17	18	21	10	21	364,969	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	3,553,250	0.3%	18	180	18	67	18	53,034	11
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	21,191,760	1.8%	13	2,959	12	1,045	9	20,279	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	39,427,600	3.3%	12	1,694	14	767	13	51,405	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,123,640	0.1%	20	611	17	147	17	7,644	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%	22	0	22	0	22	0	22
分類外	605,230	0.1%	21	81	19	24	20	25,218	16
合計	1,185,683,230	100.0%		34,254		3,611		328,353	

※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、調剤レセプトの医療費は集計できない。
そのため他統計と一致しない。

※医科レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

本庄東中学校区	本庄西中学校区	本庄南中学校区	児玉中学校区	その他
---------	---------	---------	--------	-----

大分類による疾病別医療費統計(本庄南中学校区)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	医科 レセプト 件数 ※	順位	患者数 ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	119,527,360	6.4%	8	4,400	12	1,799	8	66,441	9
II. 新生物	242,260,440	13.0%	2	4,264	13	1,514	10	160,014	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	25,448,690	1.4%	15	1,526	15	609	15	41,788	14
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	161,914,360	8.7%	4	15,949	2	2,588	3	62,564	10
V. 精神及び行動の障害	105,417,690	5.6%	9	5,272	9	776	14	135,848	3
VI. 神経系の疾患	85,255,300	4.6%	10	8,420	6	1,270	12	67,130	8
VII. 眼及び付属器の疾患	81,295,120	4.4%	11	5,499	8	1,869	7	43,497	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	8,007,940	0.4%	17	1,069	17	529	16	15,138	19
IX. 循環器系の疾患	287,812,290	15.4%	1	17,751	1	2,432	4	118,344	5
X. 呼吸器系の疾患	125,444,560	6.7%	7	10,469	5	3,078	2	40,755	16
X I. 消化器系の疾患	127,691,060	6.8%	6	15,283	3	3,102	1	41,164	15
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	41,380,870	2.2%	13	5,632	7	1,912	6	21,643	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	159,361,090	8.5%	5	11,248	4	2,260	5	70,514	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	178,403,190	9.6%	3	4,822	11	1,458	11	122,362	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく	1,716,330	0.1%	20	72	19	38	19	45,167	12
X VI. 周産期に発生した病態	5,904,900	0.3%	18	34	21	13	21	454,223	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	14,899,620	0.8%	16	360	18	136	18	109,556	6
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	30,902,270	1.7%	14	4,970	10	1,693	9	18,253	18
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	60,887,670	3.3%	12	2,510	14	1,134	13	53,693	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,890,870	0.2%	19	1,197	16	282	17	13,797	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%	22	0	22	0	22	0	22
分類外	254,960	0.0%	21	61	20	29	20	8,792	21
合計	1,867,676,580	100.0%		52,254		5,525		338,041	

※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、調剤レセプトの医療費は集計できない。
そのため他統計と一致しない。

※医科レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

本庄東中学校区	本庄西中学校区	本庄南中学校区	児玉中学校区	その他
---------	---------	---------	--------	-----

大分類による疾病別医療費統計(児玉中学校区)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	医科 レセプト 件数 ※	順位	患者数 ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	93,102,510	6.0%	8	3,790	11	1,499	7	62,110	7
II. 新生物	229,912,610	14.9%	2	3,489	12	1,207	10	190,483	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	9,363,710	0.6%	15	1,328	15	498	15	18,803	18
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	134,813,720	8.8%	3	13,563	2	2,218	3	60,782	8
V. 精神及び行動の障害	121,906,460	7.9%	6	4,406	8	673	14	181,139	2
VI. 神経系の疾患	48,594,830	3.2%	11	7,012	6	1,164	11	41,748	12
VII. 眼及び付属器の疾患	60,282,490	3.9%	10	4,186	9	1,493	8	40,377	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	6,232,480	0.4%	17	973	16	427	16	14,596	20
IX. 循環器系の疾患	258,645,300	16.8%	1	15,763	1	2,167	4	119,356	6
X. 呼吸器系の疾患	89,561,680	5.8%	9	8,798	5	2,706	1	33,097	15
X I. 消化器系の疾患	123,999,110	8.1%	5	12,625	3	2,678	2	46,303	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	35,017,390	2.3%	13	4,485	7	1,558	6	22,476	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	109,585,620	7.1%	7	9,343	4	2,012	5	54,466	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	128,151,120	8.3%	4	3,479	13	1,004	12	127,641	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく	5,506,730	0.4%	18	87	19	35	19	157,335	3
X VI. 周産期に発生した病態	1,713,620	0.1%	20	25	21	13	21	131,817	4
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	3,331,830	0.2%	19	194	18	85	18	39,198	14
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	25,596,840	1.7%	14	4,053	10	1,479	9	17,307	19
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	47,193,490	3.1%	12	1,812	14	954	13	49,469	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7,210,110	0.5%	16	925	17	232	17	31,078	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%	22	0	22	0	22	0	22
分類外	242,560	0.0%	21	54	20	27	20	8,984	21
合計	1,539,964,210	100.0%		42,313		4,829		318,899	

※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、調剤レセプトの医療費は集計できない。
そのため他統計と一致しない。

※医科レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

本庄東中学校区	本庄西中学校区	本庄南中学校区	児玉中学校区	その他
---------	---------	---------	--------	-----

大分類による疾病別医療費統計(その他)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病項目(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	医科 レセプト 件数 ※	順位	患者数 ※	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	13,694,140	4.0%	9	501	11	230	8	59,540	10
II. 新生物	65,635,490	19.1%	2	585	9	174	11	377,215	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	12,639,940	3.7%	11	300	14	90	15	140,444	4
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	17,715,860	5.2%	7	1,173	3	299	3	59,250	11
V. 精神及び行動の障害	67,316,130	19.6%	1	858	7	166	12	405,519	1
VI. 神経系の疾患	14,290,740	4.2%	8	1,019	6	200	9	71,454	9
VII. 眼及び付属器の疾患	4,912,650	1.4%	14	410	12	194	10	25,323	16
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	415,900	0.1%	17	84	16	57	16	7,296	19
IX. 循環器系の疾患	39,539,440	11.5%	3	1,239	2	257	4	153,850	3
X. 呼吸器系の疾患	22,843,030	6.6%	5	1,154	4	425	1	53,748	12
X I. 消化器系の疾患	27,338,180	8.0%	4	1,581	1	367	2	74,491	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	4,426,570	1.3%	15	574	10	249	6	17,777	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	19,868,100	5.8%	6	1,091	5	255	5	77,914	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	12,795,090	3.7%	10	400	13	166	12	77,079	7
X V. 妊娠、分娩及び産じょく	2,429,140	0.7%	16	38	18	20	18	121,457	5
X VI. 周産期に発生した病態	230,420	0.1%	19	14	20	9	20	25,602	15
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	330,220	0.1%	18	22	19	15	19	22,015	17
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,849,570	3.2%	12	609	8	232	7	46,765	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	6,051,150	1.8%	13	247	15	127	14	47,647	13
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	160,900	0.0%	20	83	17	30	17	5,363	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%	22	0	22	0	22	0	22
分類外	36,130	0.0%	21	9	21	6	21	6,022	20
合計	343,518,790	100.0%		4,610		814		422,013	

※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、調剤レセプトの医療費は集計できない。
そのため他統計と一致しない。

※医科レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別医療費統計(全体)

※大分類毎の集計を **網掛け** 表示する。

※各項目毎に上位10疾病(中分類)を **網掛け** 表示する。

総合計	医療費総計(円) ※			医科レセプト件数 ※			患者数 ※		
		6,409,784,760			176,257			19,596	

疾病項目	医療費総計(円) ※	構成比(%)	順位	医科レセプト件数 ※	構成比(%)	順位	患者数 ※	構成比(%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	392,783,740	6.1%		15,325	8.7%		6,167	31.5%		63,691	
0101 腸管感染症	18,449,650	0.3%		3,615	2.1%		2,250	11.5%		8,200	
0102 結核	2,393,560	0.0%		289	0.2%		168	0.9%		14,247	
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	1,911,320	0.0%		546	0.3%		456	2.3%		4,191	
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	16,084,100	0.3%		2,037	1.2%		1,066	5.4%		15,088	
0105 ウイルス肝炎	275,234,500	4.3%	6	3,790	2.2%		1,180	6.0%		233,250	9
0106 その他のウイルス疾患	18,387,220	0.3%		506	0.3%		346	1.8%		53,142	
0107 真菌症	24,196,890	0.4%		3,110	1.8%		1,353	6.9%		17,884	
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	317,180	0.0%		43	0.0%		19	0.1%		16,694	
0109 その他の感染症及び寄生虫症	35,809,320	0.6%		2,796	1.6%		1,552	7.9%		23,073	
II. 新生物	826,245,720	12.9%		14,639	8.3%		5,164	26.4%		160,001	
0201 胃の悪性新生物	57,283,680	0.9%		1,718	1.0%		893	4.6%		64,147	
0202 結腸の悪性新生物	72,857,250	1.1%		2,058	1.2%		1,000	5.1%		72,857	
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	54,473,210	0.8%		514	0.3%		120	0.6%		453,943	4
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物	30,525,080	0.5%		972	0.6%		492	2.5%		62,043	
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物	111,289,480	1.7%		1,452	0.8%		672	3.4%		165,609	
0206 乳房の悪性新生物	57,286,590	0.9%		1,174	0.7%		339	1.7%		168,987	
0207 子宮の悪性新生物	17,406,770	0.3%		729	0.4%		400	2.0%		43,517	
0208 悪性リンパ腫	18,352,460	0.3%		314	0.2%		99	0.5%		185,378	
0209 白血病	37,128,880	0.6%		133	0.1%		55	0.3%		675,071	2
0210 その他の悪性新生物	299,244,690	4.7%	4	5,925	3.4%		2,196	11.2%		136,268	
0211 良性新生物及びその他の新生物	70,397,630	1.1%		3,560	2.0%		2,013	10.3%		34,972	
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	73,313,550	1.1%		5,490	3.1%		2,123	10.8%		34,533	
0301 貧血	32,705,240	0.5%		4,057	2.3%		1,504	7.7%		21,746	
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	40,608,310	0.6%		1,739	1.0%		919	4.7%		44,187	
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	570,101,890	8.9%		55,765	31.6%		9,071	46.3%		62,849	
0401 甲状腺障害	23,944,290	0.4%		3,459	2.0%		1,266	6.5%		18,913	
0402 糖尿病	293,744,140	4.6%	5	27,712	15.7%	4	6,113	31.2%	4	48,052	
0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	252,413,460	3.9%	7	39,355	22.3%	2	6,251	31.9%	3	40,380	
V. 精神及び行動の障害	543,642,750	8.5%		18,369	10.4%		2,765	14.1%		196,616	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	6,692,190	0.1%		142	0.1%		47	0.2%		142,387	
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	12,735,180	0.2%		382	0.2%		99	0.5%		128,638	
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	363,606,100	5.7%	2	5,798	3.3%		676	3.4%		537,879	3
0504 気分〔感情〕障害(録うつ病を含む)	86,523,210	1.3%		8,132	4.6%		1,148	5.9%		75,369	
0505 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	41,905,890	0.7%		8,780	5.0%		1,564	8.0%		26,794	
0506 知的障害<精神遅滞>	20,776,480	0.3%		251	0.1%		57	0.3%		364,500	5
0507 その他の精神及び行動の障害	11,403,700	0.2%		800	0.5%		176	0.9%		64,794	
VI. 神経系の疾患	267,183,310	4.2%		28,198	16.0%		4,487	22.9%		59,546	
0601 パーキンソン病	24,894,310	0.4%		1,203	0.7%		158	0.8%		157,559	
0602 アルツハイマー病	22,362,900	0.3%		720	0.4%		111	0.6%		201,468	10
0603 てんかん	35,901,080	0.6%		2,651	1.5%		386	2.0%		93,008	
0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	28,596,460	0.4%		489	0.3%		94	0.5%		304,218	6
0605 自律神経系の障害	2,038,870	0.0%		1,125	0.6%		180	0.9%		11,327	
0606 その他の神経系の疾患	153,389,690	2.4%		24,776	14.1%	5	4,077	20.8%		37,623	

疾病項目		医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	医科レセプト 件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
Ⅶ. 眼及び付属器の疾患		250,035,030	3.9%		17,511	9.9%		6,287	32.1%		39,770	
0701	結膜炎	22,732,320	0.4%		8,318	4.7%		3,440	17.6%		6,608	
0702	白内障	52,445,870	0.8%		5,556	3.2%		1,613	8.2%		32,514	
0703	屈折及び調節の障害	23,241,870	0.4%		13,359	7.6%	8	4,767	24.3%	8	4,876	
0704	その他の眼及び付属器の疾患	151,614,970	2.4%		12,876	7.3%	10	4,336	22.1%		34,967	
Ⅷ. 耳及び乳様突起の疾患		24,139,840	0.4%		3,708	2.1%		1,811	9.2%		13,330	
0801	外耳炎	2,426,810	0.0%		1,110	0.6%		748	3.8%		3,244	
0802	その他の外耳疾患	1,895,320	0.0%		585	0.3%		482	2.5%		3,932	
0803	中耳炎	6,388,660	0.1%		934	0.5%		466	2.4%		13,710	
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	1,656,860	0.0%		726	0.4%		270	1.4%		6,137	
0805	メニエール病	3,465,180	0.1%		574	0.3%		191	1.0%		18,142	
0806	その他の内耳疾患	3,585,750	0.1%		217	0.1%		124	0.6%		28,917	
0807	その他の耳疾患	4,721,260	0.1%		1,043	0.6%		561	2.9%		8,416	
Ⅸ. 循環器系の疾患		1,014,798,250	15.8%		62,766	35.6%		8,659	44.2%		117,196	
0901	高血圧性疾患	355,436,120	5.5%	3	52,258	29.6%	1	6,267	32.0%	2	56,716	
0902	虚血性心疾患	156,767,790	2.4%	10	10,819	6.1%		2,099	10.7%		74,687	
0903	その他の心疾患	224,951,140	3.5%	9	11,052	6.3%		2,836	14.5%		79,320	
0904	くも膜下出血	16,600,430	0.3%		119	0.1%		61	0.3%		272,138	8
0905	脳内出血	53,541,960	0.8%		555	0.3%		289	1.5%		185,266	
0906	脳梗塞	77,886,840	1.2%		5,397	3.1%		1,208	6.2%		64,476	
0907	脳動脈硬化	194,060	0.0%		40	0.0%		36	0.2%		5,391	
0908	その他の脳血管疾患	32,902,860	0.5%		2,373	1.3%		905	4.6%		36,357	
0909	動脈硬化	19,834,190	0.3%		2,423	1.4%		814	4.2%		24,366	
0910	痔核	8,619,200	0.1%		1,160	0.7%		440	2.2%		19,589	
0911	低血圧	1,356,220	0.0%		268	0.2%		56	0.3%		24,218	
0912	その他の循環器系の疾患	66,707,440	1.0%		3,762	2.1%		1,231	6.3%		54,190	
Ⅹ. 呼吸器系の疾患		393,092,140	6.1%		35,857	20.3%		10,872	55.5%		36,156	
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	2,422,610	0.0%		1,027	0.6%		743	3.8%		3,261	
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	18,829,570	0.3%		5,338	3.0%		3,285	16.8%		5,732	
1003	その他の急性上気道感染症	32,295,430	0.5%		8,133	4.6%		4,465	22.8%		7,233	
1004	肺炎	41,903,830	0.7%		1,575	0.9%		1,048	5.3%		39,985	
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	43,149,450	0.7%		8,889	5.0%		4,563	23.3%	10	9,456	
1006	アレルギー性鼻炎	57,840,990	0.9%		12,417	7.0%		4,602	23.5%	9	12,569	
1007	慢性副鼻腔炎	8,991,720	0.1%		1,398	0.8%		500	2.6%		17,983	
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	10,204,680	0.2%		2,352	1.3%		1,303	6.6%		7,832	
1009	慢性閉塞性肺疾患	27,794,350	0.4%		2,818	1.6%		727	3.7%		38,232	
1010	喘息	69,050,520	1.1%		7,481	4.2%		2,192	11.2%		31,501	
1011	その他の呼吸器系の疾患	80,608,990	1.3%		5,083	2.9%		2,629	13.4%		30,661	
ⅩⅠ. 消化器系の疾患		482,585,570	7.5%		51,785	29.4%		10,589	54.0%		45,574	
1101	う蝕	14,050	0.0%		1	0.0%		1	0.0%		14,050	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	110,790	0.0%		19	0.0%		17	0.1%		6,517	
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	380,190	0.0%		32	0.0%		26	0.1%		14,623	
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	59,450,480	0.9%		10,768	6.1%		2,316	11.8%		25,669	
1105	胃炎及び十二指腸炎	82,744,800	1.3%		22,433	12.7%	6	6,456	32.9%	1	12,817	
1106	アルコール性肝疾患	6,797,760	0.1%		318	0.2%		78	0.4%		87,151	
1107	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	7,478,580	0.1%		1,749	1.0%		419	2.1%		17,849	
1108	肝硬変（アルコール性のものを除く）	10,638,000	0.2%		893	0.5%		227	1.2%		46,863	
1109	その他の肝疾患	25,960,090	0.4%		5,359	3.0%		2,685	13.7%		9,669	
1110	胆石症及び胆のう炎	33,700,550	0.5%		1,739	1.0%		544	2.8%		61,950	
1111	膵疾患	16,584,940	0.3%		1,274	0.7%		650	3.3%		25,515	
1112	その他の消化器系の疾患	238,725,340	3.7%	8	27,762	15.8%	3	5,463	27.9%	6	43,699	

	疾病項目	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	医科レセプト 件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
X II.	皮膚及び皮下組織の疾患	130,652,760	2.0%		18,340	10.4%		6,456	32.9%		20,237	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	11,885,890	0.2%		2,027	1.2%		1,301	6.6%		9,136	
1202	皮膚炎及び湿疹	71,725,260	1.1%		13,070	7.4%	9	4,805	24.5%	7	14,927	
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	47,041,610	0.7%		7,207	4.1%		3,034	15.5%		15,505	
X III.	筋骨格系及び結合組織の疾患	507,499,220	7.9%		39,575	22.5%		7,958	40.6%		63,772	
1301	炎症性多発性関節障害	102,443,010	1.6%		6,170	3.5%		1,371	7.0%		74,721	
1302	関節症	73,751,700	1.2%		8,210	4.7%		1,815	9.3%		40,635	
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	89,395,090	1.4%		9,887	5.6%		2,215	11.3%		40,359	
1304	椎間板障害	24,720,260	0.4%		2,937	1.7%		890	4.5%		27,776	
1305	頸腕症候群	6,147,320	0.1%		2,402	1.4%		631	3.2%		9,742	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	37,826,330	0.6%		11,346	6.4%		2,803	14.3%		13,495	
1307	その他の脊柱障害	17,959,680	0.3%		1,894	1.1%		625	3.2%		28,735	
1308	肩の傷害<損傷>	17,330,320	0.3%		4,227	2.4%		1,102	5.6%		15,726	
1309	骨の密度及び構造の障害	71,755,840	1.1%		8,416	4.8%		1,627	8.3%		44,103	
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	66,169,670	1.0%		9,114	5.2%		3,190	16.3%		20,743	
X IV.	腎尿路生殖器系の疾患	550,860,730	8.6%		15,746	8.9%		4,639	23.7%		118,746	
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	17,180,300	0.3%		1,537	0.9%		628	3.2%		27,357	
1402	腎不全	407,540,860	6.4%	1	2,412	1.4%		371	1.9%		1,098,493	1
1403	尿路結石症	12,005,100	0.2%		1,143	0.6%		445	2.3%		26,978	
1404	その他の腎尿路系の疾患	47,580,930	0.7%		6,726	3.8%		2,592	13.2%		18,357	
1405	前立腺肥大	38,900,810	0.6%		4,219	2.4%		712	3.6%		54,636	
1406	その他の男性生殖器系の疾患	2,585,750	0.0%		470	0.3%		194	1.0%		13,329	
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	6,262,730	0.1%		1,153	0.7%		370	1.9%		16,926	
1408	乳房及びその他の女性生殖器系の疾患	18,804,250	0.3%		1,979	1.1%		1,064	5.4%		17,673	
X V.	妊娠、分娩及び産じょく	15,010,080	0.2%		339	0.2%		155	0.8%		96,839	
1501	流産	1,873,280	0.0%		78	0.0%		55	0.3%		34,060	
1502	妊娠高血圧症候群	210,780	0.0%		9	0.0%		5	0.0%		42,156	
1503	単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504	その他の妊娠、分娩及び産じょく	12,926,020	0.2%		274	0.2%		118	0.6%		109,543	
X VI.	周産期に発生した病態	12,507,170	0.2%		116	0.1%		59	0.3%		211,986	
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	7,285,510	0.1%		63	0.0%		26	0.1%		280,212	7
1602	その他の周産期に発生した病態	5,221,660	0.1%		57	0.0%		39	0.2%		133,889	
X VII.	先天奇形、変形及び染色体異常	24,358,270	0.4%		1,054	0.6%		408	2.1%		59,702	
1701	心臓の先天奇形	664,490	0.0%		57	0.0%		34	0.2%		19,544	
1702	その他の先天奇形、変形及び染色体異常	23,693,780	0.4%		1,008	0.6%		381	1.9%		62,188	
X VIII.	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	120,531,700	1.9%		16,517	9.4%		5,828	29.7%		20,681	
1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	120,531,700	1.9%		16,517	9.4%	7	5,828	29.7%	5	20,681	
X IX.	損傷、中毒及びその他の外因の影響	192,341,710	3.0%		8,225	4.7%		3,887	19.8%		49,483	
1901	骨折	81,571,880	1.3%		1,929	1.1%		711	3.6%		114,728	
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	10,866,210	0.2%		218	0.1%		174	0.9%		62,449	
1903	熱傷及び腐食	2,396,690	0.0%		191	0.1%		125	0.6%		19,174	
1904	中毒	2,377,080	0.0%		382	0.2%		321	1.6%		7,405	
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	95,129,850	1.5%		6,269	3.6%		3,226	16.5%		29,488	
X X I.	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	16,508,830	0.3%		3,746	2.1%		915	4.7%		18,042	
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	99,210	0.0%		8	0.0%		4	0.0%		24,803	
2102	予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104	歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	16,409,620	0.3%		3,738	2.1%		912	4.7%		17,993	

疾病項目	医療費総計 (円) ※	構成比 (%)	順位	医科レセプト 件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
XXII. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210 重症急性呼吸器症候群 [SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220 その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外	1,592,500	0.0%		247	0.1%		112	0.6%		14,219	
9999 分類外	1,592,500	0.0%		247	0.1%		112	0.6%		14,219	

※医科、調剤の電子レセプトを集計。対象診療年月は平成27年2月～平成28年1月診療分(12カ月分)。

※医療費総計…中分類の疾病項目毎に集計するため医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合、調剤レセプトの医療費は集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※医科レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

本庄市国民健康保険データヘルス計画

平成 29 年 3 月

発行 本庄市 保健部 保険課
〒367-8501 埼玉県本庄市本庄 3-5-3
TEL 0495-25-1116